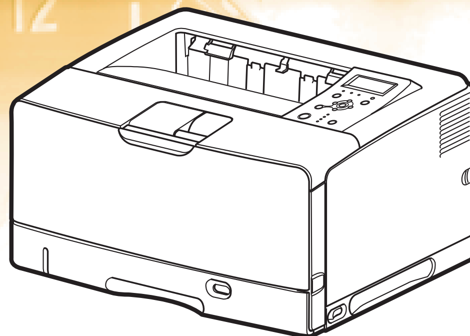
Canon

レーザービームプリンター

Satera

LBP8630/LBP8620/LBP8610

ＬＩＰＳ機能ガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。


このマークが付いている分冊は、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いている分冊は、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンターの簡単な使いかたを知るには**

ポケットガイド 

- **プリンターを設置するには**
- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド 

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**

ネットワークガイド / 本編 

- **操作パネルを使ってプリンターを設定するには**

LIPS 機能ガイド（本書） 

- **Webブラウザーからプリンターを操作・設定するには**

リモート UI ガイド 

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル
LIPS 対応のプリンタードライバーや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書
オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

第 1 章　メニュー機能の使いかた　必ずお読みください

第 2 章　メニューの機能と操作　必ずお読みください

第 3 章　共通セットアップメニューの設定項目

第 4 章　LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第 5 章　ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第 6 章　Imaging 専用セットアップメニューの設定項目

第 7 章　セットアップ以外の メニューの設定項目

第 8 章　付録

ソフトウェアのバージョンアップ方法やユーティリティーメニューから出力できるリスト、動作モードを切り替えて出力できるリストの内容などについて説明しています。

巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。

本製品のリモート UI を使い、コンピューターからリモートで設定や管理を行う場合は添付の「リモート UI ガイド」（CD-ROM）もお読みください。

ユーザーズガイドをあわせてお読みください。

目次

第 4 章　LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第 5 章　ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第 8 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP8630/LBP8620/LBP8610 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：［キー名称］
  例：［オンライン］
  　　［ユーティリティー］
- コンピューター画面上のボタン：［ボタン名称］
  例：［OK］
  　　［変更］

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows operating system：	Windows
Extended Unix Code：	EUC

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

UFST は、Agfa Monotype Corporation の商標です。

Agfa は、Agfa-Gevaert AG の登録商標です。

Apple、Apple Talk、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

HP、HP-GL、HP-GL/2 は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体 TM W3、平成角ゴシック体 TM W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品が対応しているコントロールコマンドについて

標準対応しているコントロールコマンドについて

本製品は標準で LIPS、ESC/P エミュレーションコマンドに対応しています。

コントロールコマンドとは、プリンターを制御するコマンド体系のことで、コンピューターのデータを印刷するという一連の作業は、すべてコンピューターから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。



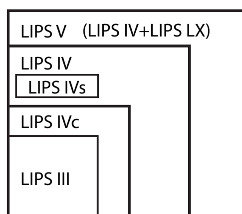
本機を N201、IBM5577、HP-GL などの標準プリンターとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロール ROM が必要です。

■ LIPSモード

LIPS は、LBP Image Processing System の略で、キヤノンが独自に開発したページプリンターをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）は、このモードで印刷します。Windows や Macintosh では、付属のプリンタードライバーを組み込むと、自動的に LIPS モードで印刷します。

LIPS には、現在 LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVs、LIPS IV、LIPS LX のバージョンがあります。これらのうち本機では、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS LX に対応しています。

LIPS V は、LIPS IV（LIPS II+、LIPS III を含む）および LIPS LX から構成されたコマンド体系の総称です。LIPS LX は、最新の OS に最適化されたプリンティングシステムです。印刷処理をコンピューターとプリンターで分散させて行うため、高速な印刷が行なえます。また、プリンターのメモリー追加を行なわない場合でも、高速な印刷が可能です。





- LIPS II+対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザーショットシリーズで行った印刷とは解像度が異なります。
- LIPS IVc対応アプリケーションソフトからも本製品で印刷することができますが、解像度の違いにより、印刷結果の見た目は異なります。
- LIPS LXはWindows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008およびMac OS Xのみで使用可能です。

■ **ESC/Pエミュレーションモード**

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピューター）、AX コンピューターで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンターの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピューターで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、このモードで印刷します。セイコーエプソン（株）が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

コントロールコマンドごとの動作モード

本製品はコンピューターから送られてきたデータのコントロールコマンドを判別して、自動的に動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモードに切り替えることができます。ただし、アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが限定されている場合や、自動切り替えでうまく動作モードが切り替わらないときは以下のように、コントロールコマンドと動作モードを対応させます。

LIPS のコントロールコマンドでデータを受け取って印刷できる状態にするには「LIPS モード」、ESC/P のコントロールコマンドでデータを受け取って印刷できる状態にするには「ESC/P エミュレーションモード」に切り替えます。本製品では操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、印刷するときの環境を設定することができます。

BMLinkS について

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インターフェイスです。BMLinkS を利用することで、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンターやスキャナーを共通のフォーマットを用いて接続することができます。

BMLinkS の詳細については、ユーザーズガイド「第 3 章 プリンターの使いかた」を参照してください。

ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントは、プリンタードライバーを使用せずにホスト端末からファイルをプリンターに転送し、ファイルそのものをプリンターが認識し、印刷する機能です。したがって、ファイルを開いて印刷する必要がありません。

印刷するには、リモート UI から印刷したい TIFF/JPEG 形式の画像ファイルを指定します。

また、コマンドプロンプトからのコマンド入力（LPR コマンド）によるダイレクトプリントにも対応しています。

ダイレクトプリントの詳細については、ユーザーズガイド「第 3 章 プリンターの使いかた」を参照してください。

1
CHAPTER

メニュー機能の使いかた

この章では、プリンターの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレーの見かたについて説明しています。

メニュー機能

メニュー機能の概要や種類について説明しています。

メニュー機能とは

印刷時には、印刷枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタードライバーで行います。

しかし、本プリンターには、印刷枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じて印刷できます。本プリンターの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタードライバーで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能を設定する方法には次の 2 種類があります。

■ プリンターの操作パネルで設定する方法

プリンターのディスプレーの表示を見ながらキーを押して操作します。

■ 「リモートUI」で設定する方法

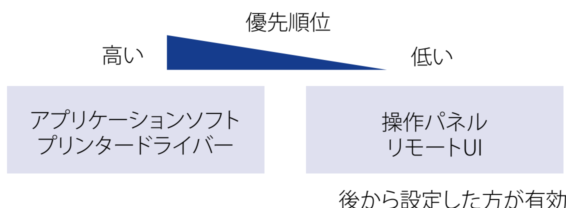
操作パネルで行う設定の一部が、コンピューター側から Web ブラウザーを使用して行うことができます。



- 本書では、操作パネルでメニュー機能を設定する方法のみを説明しています。リモートUIで設定する方法については、「リモートUIガイド」を参照してください。
- メニュー機能の設定内容は、通常は電源をオフにしても消えないメモリー（NVRAM）に登録されます。したがって、電源を入れなおしても、電源をオフにする前と同じ設定で起動します。

設定の優先順位

アプリケーションソフトやプリンタードライバーと同じ項目をメニュー機能で設定しても、アプリケーションソフトやプリンタードライバーで設定した内容のほうが有効になります。
また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合と「リモート UI」で行う場合では、後から設定した内容が有効になります。



後から設定した方が有効

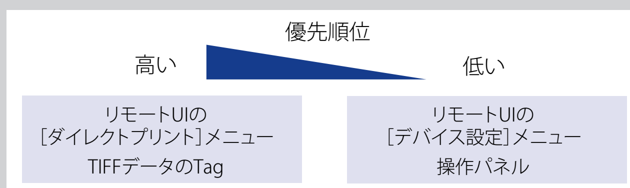
プリンタードライバーやリモート UI は本プリンターに付属しています。操作については、プリンタードライバーのヘルプおよび「リモート UI ガイド」を参照してください。

設定項目によっては、プリンターの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

● ダイレクトプリント時の設定の優先順位

メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とリモート UI の［デバイス設定］メニューで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。

ダイレクトプリント時には、操作パネルやリモート UI の［デバイス設定］メニューで設定した内容よりもリモート UI の［ダイレクトプリント］メニューや画像ファイルの TIFF データのヘッダーが持つ IFD（Image file directory）の中にある Tag で設定されている内容が優先されます。



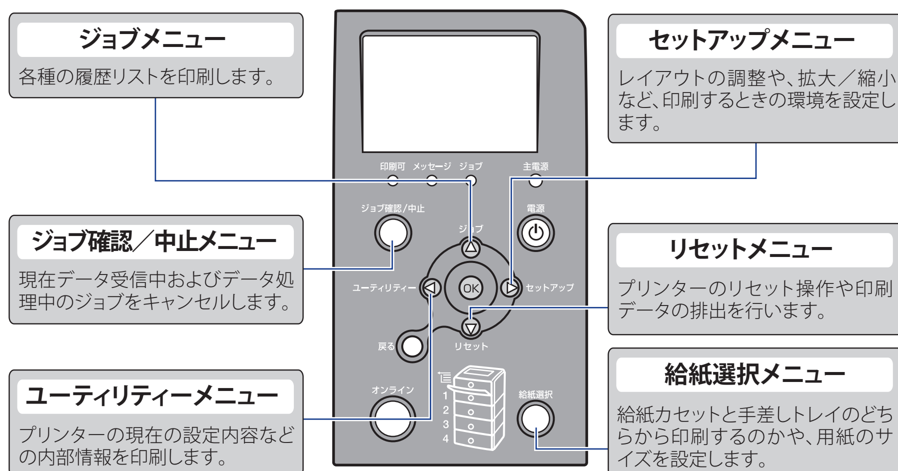
TIFF データのヘッダーが持つ一部の Tag の機能は有効にならない場合があります。

メニューの種類

メニューには、次の図で示した 6 種類があります。

メニューの機能、構造、および操作の流れについては、「メニューの機能と操作」（→P.2-1）を参照してください。

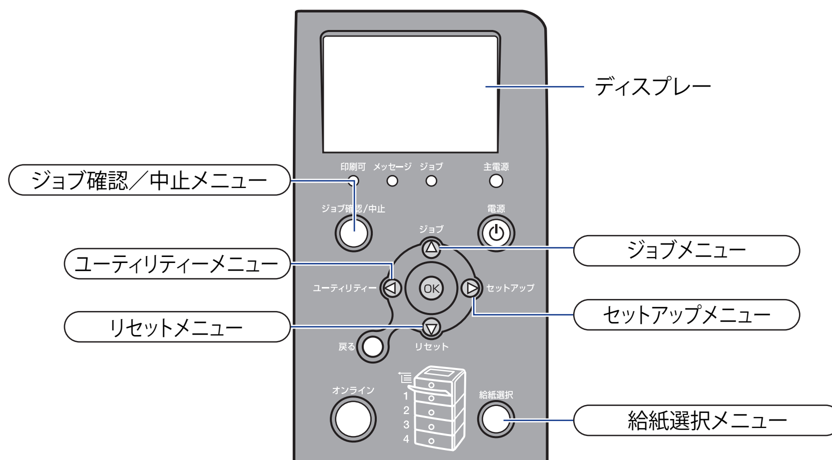
また、各メニューの内容については、「共通セットアップメニューの設定項目」（→P.3-1）、「LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」（→P.4-1）、「ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」（→P.5-1）、「Imaging 専用セットアップメニューの設定項目」（→P.6-1）、「セットアップ以外の メニューの設定項目」（→P.7-1）を参照してください。



操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、[セットアップ]、[ユーティリティー]、[ジョブ]、[リセット]、[ジョブ確認／中止]、[給紙選択］には、メニューを表示する機能があります。



■ 各キーの機能は、次のとおりです。

キー	機能		
	オンライン状態	オフライン状態	メニュー表示中
オンライン （オンライン）	キーが点灯している状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。	キーが消灯している状態です。	メニューの階層から抜けます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定せずに、メニューの階層から抜けます。
ジョブ確認/中止 （ジョブ確認／中止）	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブ確認／中止］と表記します。		動作しません。
給紙選択 （給紙選択）	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。		動作しません。

キー	機能		
	オンライン状態	オフライン状態	メニュー表示中
（ユーティリティー）	ユーティリティーメニューを表示します。本文中では［ユーティリティー］と表記します。	動作しません。	ひとつ前の階層に戻ります。本文中では［◄］と表記します。
（ジョブ）	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	動作しません。	同じ階層の上の項目を選択します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［▲］と表記します。
（リセット）	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。		同じ階層の下の項目を選択します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［▼］と表記します。
（セットアップ）	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。 ただし、オンライン状態ではユーザーメンテナンスグループの設定はできません。		次の階層に進みます。本文中では［►］と表記します。
（OK）	動作しません。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。
（戻る）	動作しません。		ひとつ前の階層に戻ります。本文中では［戻る］と表記します。
（操作部電源スイッチ（サブ電源））	「スリープモード」が「使わない」以外に設定されている場合、スリープモードに移行します。		

ディスプレーの見かた

メニュー機能を設定するときの、プリンターのディスプレーに表示される内容について説明しています。

メニュー操作に入ることができる状態

各メニューには以下の状態から入ることができます。

○：メニューに入ることができる状態
×：メニューに入ることができない状態

	印刷可能な状態 *1		エラー状態 *2
	オンライン状態	オフライン状態	
セットアップメニュー	○ *3	○	○
給紙選択メニュー	○	○	○
リセットメニュー	○	○	○ *4
ジョブメニュー	○	×	×
ユーティリティーメニュー	○	×	×

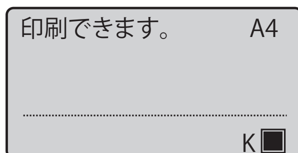
*1 印刷可能な状態とは、印刷可ランプが点灯している状態です。
*2 エラー状態とは、メッセージランプが点灯している状態です。
*3 オンライン状態ではユーザーメンテナンスグループの設定はできません。
*4「排出」を行うことはできません。

ディスプレーの見かた

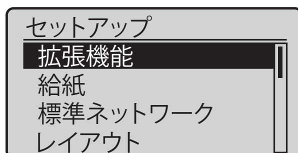
ディスプレーは最大で縦に 5 行、横に全角 11 文字（半角 22 文字）を表示します。

● 表示例：

- 基本画面



- メニュー操作中の画面



現在選択されている項目は、黒地に白文字で反転されて表示されます。

メニューの機能と操作

2
CHAPTER

この章では、操作パネルで印刷環境を設定する方法と、設定した印刷環境を初期化する方法について説明しています。

メニュー操作の流れ

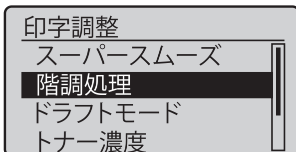
メニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、「印字調整」グループの「階調処理」の項目を「高階調」に設定する手順を例に説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 **オフライン状態に切り替える**	**［オンライン］を押す** オンライン状態でもセットアップメニューを表示することはできますが、ユーザーメンテナンスグループの設定はできません。
2 **セットアップメニューを表示する** セットアップ 拡張機能 給紙 標準ネットワーク レイアウト	**［セットアップ］を押す** セットアップメニューが表示されます。
3 **グループを選択する** 「印字調整」グループを選択した場合 セットアップ 給紙 標準ネットワーク レイアウト 印字調整	**［▲］または［▼］を押す** 目的のグループが表示されます。
4 **設定項目を表示する** 印字調整 スーパースムーズ 階調処理 ドラフトモード トナー濃度	**［OK］を押す** 選択したグループの設定項目が表示されます。

5 設定項目を選択する

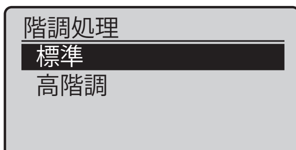
「階調処理」を選択した場合



［▲］または［▼］を押す

目的の設定項目が表示されます。

6 設定値を表示する

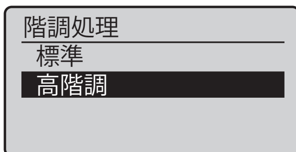


［OK］を押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

7 設定値を選択する

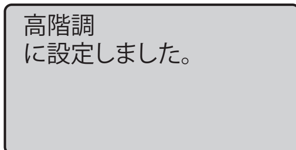
「 高階調 」を選択した場合



［▲］または［▼］を押す

目的の設定値が表示されます。

8 選択した値を確定する



［OK］を押す

目的の設定値が設定されます。
設定終了画面は、3 秒間表示されます。表示秒数の変更は、セットアップメニューの「設定完了通知」（→P.3-16）で行います。

9 設定メニューから抜ける

［オンライン］を押す



- 1つ前の階層に戻るときや選択していた項目をキャンセルする場合は、［戻る］または［◄］を押してください。
- メニュー操作中の画面で［オンライン］を押すと、選択していた項目をキャンセルし、オンラインまたはオフラインの状態に戻ります。
- オフライン状態に切り替えることができるのは、印刷可能な状態（印刷可ランプが点灯している状態）のときです。
- 設定項目によっては、プリンターの再起動後に設定が有効になるものもあります。
- 設定項目によっては、オプションのコントロールROMやペーパーフィーダーなどを装着している場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロールROMの取扱説明書を参照してください。
- 「パネル設定初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（→P.2-5）を参照してください。

セットアップメニューの初期化

セットアップメニューの初期化の概要と操作手順について説明しています。

セットアップメニューの初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、共通セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。キー操作を 1 から順に行ってください。

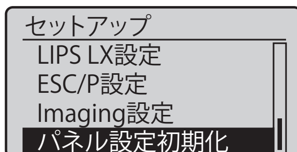


1 ［セットアップ］を押します。





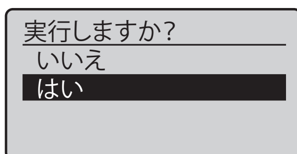
2 ［▼］で「パネル設定初期化」を選択し、［OK］を押します。







3 ［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押します。



初期化の実行中は、「初期化中です。」が表示されます。
終了すると、「初期化終了しました。」が表示されます。

重要

- パネル設定初期化の実行時に、「初期化できませんでした。」と表示された場合は、初期化は行われていません。ジョブランプが点灯していないことを確認して、再度「パネル設定初期化」を行ってください。
- 初期化の実行中に電源をオフしないでください。プリンターのメモリーが故障することがあります。

- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効になりません。



- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。ただし、ディスプレーに「初期化中です。」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。
- 共通セットアップメニューの標準ネットワークグループとユーザーメンテナンスグループの「印字位置調整」の項目は初期化されません。

共通セットアップメニューの設定項目

3
CHAPTER

この章では、共通セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

共通セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ 拡張機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スリープモード	**ディープスリープ**、使わない、パネルオフ、使う	P.3-9
エラースリープ	**する**、しない	P.3-10
スリープモード移行時間	**1 分**、5 分、15 分、30 分、60 分、180 分	P.3-10
タイマー設定		
ウェイクアップタイマー	**使わない**、使う	P.3-10
ウェイクアップ時刻	00:00 ～ **12:00** ～ 23:59	P.3-10
スリープタイマー	**使わない**、使う	P.3-11
スリープ時刻	00:00 ～ **12:00** ～ 23:59	P.3-11
ディープスリープタイマー	**使わない**、使う	P.3-11
ディープスリープ時刻	00:00 ～ **12:00** ～ 23:59	P.3-12
警告処理	トナー交換予告：**継続**、停止	P.3-12
自動エラースキップ	**しない**、する	P.3-13
表示言語	**日本語**、English	P.3-13
ブザー	**1 回**、連続、オフ	P.3-13
警告表示	トナー交換予告：**する**、しない カセット用紙なし：**する**、しない	P.3-14
日付／時刻設定	日付：2001/01/01 ～ 2089/12/31 時刻：00:00:00 ～ 23:59:59	P.3-14
PDL 選択（PnP）	**LIPS LX**、LIPS4	P.3-15
管理設定		
セットアップキーのロック	**しない**、する	P.3-15
画面調整		
画面コントラスト	-3 ～ **0** ～ +3	P.3-15
バックライトの明るさ	**レベル 3**、オフ、レベル 1、レベル 2	P.3-15
アニメーション表示	**する**、しない	P.3-16

設定項目	設定値	参照ページ
トナー残量アイコン表示	**する**、しない	P.3-16
設定完了通知	**3 秒**、しない、1 秒、2 秒	P.3-16

■ 給紙グループ

設定項目	設定値	参照ページ
手差しトレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザー設定サイズ、ユーザー設定サイズ R、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、封筒 洋形長 3 号、A5、B5	P.3-17
手差しトレイ優先	**しない**、する	P.3-18
カセット N（N=1、2、3、4）用紙サイズ ＊	**ユーザー設定サイズ**、ユーザー設定サイズ R、フリー	P.3-19
デフォルト用紙サイズ	**A4**、B4、A3、レター、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、封筒 洋形長 3 号、A5、B5	P.3-19
用紙不一致時トレイ	**使わない**、使う	P.3-20
自動選択	手差しトレイ：**使う**、使わない カセット 1：**使う**、使わない カセット 2*：**使う**、使わない カセット 3*：**使う**、使わない カセット 4*：**使う**、使わない	P.3-20
デフォルト用紙種類	**普通紙**、普通紙 L、普通紙 H、厚紙 L、厚紙 H、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙	P.3-21
両面印刷 ＊	**しない**、する	P.3-22

■ 標準ネットワークグループ*

設定項目	設定値	参照ページ
TCP/IP 設定		
IPv4 設定	IP モード：……**手動**、自動 プロトコル *： DHCP によるアドレス設定……**オフ**、オン BOOTP によるアドレス設定……**オフ**、オン RARP によるアドレス設定……**オフ**、オン IP アドレス設定： IP アドレス……**0.0.0.0** サブネットマスク……**0.0.0.0** ゲートウェイアドレス……**0.0.0.0** IP アドレス範囲設定： 受信／印刷拒否……**しない**、する 拒否アドレス設定 *……拒否 IP アドレス 1 ～ 8 受信／印刷許可……**しない**、する 許可アドレス設定 *……許可 IP アドレス 1 ～ 8 設定／参照拒否……**しない**、する 拒否アドレス設定 *……拒否 IP アドレス 1 ～ 8 設定／参照許可……**しない**、する 許可アドレス設定 *……許可 IP アドレス 1 ～ 8 DNS： プライマリー DNS サーバーアドレス……**0.0.0.0** セカンダリー DNS サーバーアドレス……**0.0.0.0**	P.3-23
IPv6 設定	IPv6： **オフ**、オン	P.3-25
WINS による名前解決	**オフ**、オン	P.3-25
ARP/PING	**オン**、オフ	P.3-25
FTP	FTP 印刷： **オフ**、オン FTP 設定： **オフ**、オン	P.3-25
LPD 印刷	**オン**、オフ	P.3-25
RAW 印刷	**オン**、オフ	P.3-26
BMLinkS	**使わない**、使う	P.3-26
IPP 印刷	**オン**、オフ	P.3-26
WSD	WSD 印刷： **オン**、オフ WSD 参照 *： **オン**、オフ マルチキャスト探索： **オン**、オフ	P.3-26
HTTP	**オン**、オフ	P.3-26
プロキシー設定	プロキシー：**オフ**、オン サーバーアドレス *：－ ポート番号 *：0 ～ **80** ～ 99999 同一ドメイン *：**プロキシーを使用しない**、プロキシーを使用 プロキシー認証 *：**オフ**、オン ユーザー名 *：－ パスワード *：－	P.3-27
SNTP	**オフ**、オン	P.3-27
探索応答	**オン**、オフ	P.3-27

設定項目	設定値	参照ページ
MAC アドレス設定 *	受信許可： **しない**、する 許可アドレス設定 *： 許可 MAC アドレス 1 ～ 50	P.3-28
AppleTalk	**オフ**、オン	P.3-28
SNMPv1	**オン**、オフ	P.3-28
SNMPv3 設定	SNMPv3： **オフ**、オン ユーザー設定 1 ～ 5*： 認証パスワード 暗号化パスワード	P.3-29
起動待機時間	**0** ～ 300 秒	P.3-29
リモート UI 設定	リモート UI： **オン**、オフ SSL*： **オフ**、オン	P.3-30
Ethernet ドライバー *	自動検出： **オン**、オフ 通信方式 *： **半二重**、全二重 Ethernet 種類 *： **10 Base-T**、100 Base-TX	P.3-30
MAC アドレス	（表示のみ）	P.3-30
ネットワーク設定初期化	—	P.3-31

■ レイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
コピー枚数	**1** ～ 9999	P.3-32
縦位置補正	-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）	P.3-32
横位置補正	-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）	P.3-32
とじ方向	**長辺とじ**、短辺とじ	P.3-33
とじしろ	-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）	P.3-34
特殊両面処理 *	**する**、しない	P.3-35

■ 印字調整グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スーパースムーズ	**使う**、使わない	P.3-36
階調処理	**標準**、高階調	P.3-36
ドラフトモード	**使わない**、使う	P.3-36
トナー濃度	-3 ～ **0** ～ +12	P.3-37
中間調選択	テキスト：**高解像度**、解像度、階調、色調 グラフィックス：**階調**、色調、高解像度、解像度 イメージ：**色調**、高解像度、解像度、階調	P.3-37
画質警告	**継続**、停止	P.3-38

■ インターフェイスグループ

設定項目	設定値	参照ページ
インターフェイス選択	USB：**使う**、使わない ネットワーク：**使う**、使わない	P.3-39
タイムアウト		
タイムアウト	**する**、しない	P.3-39
タイムアウト時間 *	5 ～ **15** ～ 300 秒	P.3-40
拡張カード *	—	P.3-40
コネクション認識	**する**、しない	P.3-40
拡張受信バッファー *	**使わない**、使う	P.3-40

■ ユーザーメンテナンスグループ

設定項目	設定値	参照ページ
印字位置調整	縦位置補正（トレイ）：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（トレイ）：-2.59 ～ **0.00** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 1）：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 1）：-2.59 ～ **0.00** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 2）*：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 2）*：-2.59 ～ **0.00** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 3）*：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 3）*：-2.59 ～ **0.00** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 4）*：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 4）*：-2.59 ～ **0.00** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（両面）*：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（両面）*：-2.59 ～ **0.00** ～ 2.59（mm）	P.3-41
リカバリー印刷	**する**、しない	P.3-42
用紙長さ確認	**しない**、する	P.3-42
用紙サイズ置換	**しない**、する	P.3-43
特殊印字モード A	**モード 1**、モード 2、モード 3、モード 4	P.3-43
うねり特殊処理	**しない**、する	P.3-43

ファームウェア更新		
USB	ー	P.3-44
標準ネットワーク	ー	P.3-44
ジョブ一覧表示	**する**、しない	P.3-44

■ 動作モードグループ

設定項目	設定値	参照ページ
動作モード選択	**自動選択**、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*、HP-GL/2*、HEX-DUMP、LIPS-DUMP	P.3-45
自動切替	LIPS：**使う**、使わない N201*：**使う**、使わない ESC/P：**使う**、使わない I5577*：**使う**、使わない HP-GL*：**使う**、使わない HP-GL/2*：**使う**、使わない	P.3-49
優先エミュレーション	**なし**、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*、HP-GL/2*	P.3-49

拡張機能グループの設定項目

拡張機能グループでは、プリンターにエラーが発生したときの動作などについて設定できます。

スリープモード

ディープスリープ、使わない、パネルオフ、使う

スリープモードを使用するかどうかを設定します。

スリープモードには 3 種類あり、本項目の設定によって移行するスリープモードが変わります。

本項目の設定	移行可能なスリープモード
パネルオフ	スリープモード 1（パネルオフモード）
使う	スリープモード 1（パネルオフモード） スリープモード 2（プリンタースリープモード）
ディープスリープ	スリープモード 1（パネルオフモード） スリープモード 2（プリンタースリープモード） スリープモード 3（ディープスリープモード）
使わない	移行しません

スリープモードになると、プリンターは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモード中は、ディスプレーの表示が消え、次のランプが点灯します。

本項目の設定	点灯するランプ
スリープモード 1 （パネルオフモード）	オンライン状態：印刷可ランプと主電源ランプ オフライン状態：メッセージランプと主電源ランプ
スリープモード 2 （プリンタースリープモード）	オンライン状態：印刷可ランプと主電源ランプ オフライン状態：メッセージランプと主電源ランプ
スリープモード 3 （ディープスリープモード）	主電源ランプ



- スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第2章 プリンターの設置」を参照してください。
- プリンターがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定することができます。（→エラースリープ：次項目）

エラースリープ

する、しない

プリンターがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定します。

「する」に設定すると、プリンターがエラー状態のときでもスリープモードに移行します。

「しない」に設定すると、プリンターがエラー状態の時はスリープモードに移行しません。

スリープモード移行時間

1 分、5 分、15 分、30 分、60 分、180 分

スリープモードに移行するまでの時間を設定します。



次のような状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。

- プリンターにエラーが発生（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅）していて、「エラースリープ」（→前項目）を「しない」に設定している
- プリンターの起動中

タイマー設定

■ ウェイクアップタイマー

使わない、使う

スリープモード（パネルオフモード､プリンタースリープモード､ディープスリープモード）を解除するウェイクアップ機能を使用するかどうかを設定します。

「使う」に設定すると､「ウェイクアップ時刻」（→ 次項目）で設定した時刻にスリープモード（パネルオフモード､プリンタースリープモード､ディープスリープモード）を解除します。

「使わない」に設定すると、ウェイクアップ機能を使用しません。



ウェイクアップ機能は､スリープモード（パネルオフモード､プリンタースリープモード､ディープスリープモード）を解除するためのものです。プリンターの電源がオフの場合､ウェイクアップ機能は動作しません。

■ ウェイクアップ時刻

00:00 ～ 12:00 ～ 23:59

「ウェイクアップタイマー」（→ 前項目）を「使う」に設定したときに、本項目で設定した時刻になるとスリープモード（パネルオフモード、プリンタースリープモード、ディープスリープモード）を解除します。

毎日同じ時刻にプリンターのスリープモード（パネルオフモード、プリンタースリープモード、ディープスリープモード）を解除したい場合に便利です。

■ スリープタイマー

使わない、使う

「スリープ時刻」(→ 次項目)で設定した時間になったときに、スリープモードに移行するかどうかを設定します。

「使う」に設定すると、「スリープ時刻」で設定した時刻にスリープモードに移行します。

「使わない」に設定すると、「スリープ時刻」で設定した時刻になってもスリープモードに移行しません。

スリープモード中は、ディスプレーの表示が消え、次のランプが点灯します。

プリンターの状態	点灯するランプ
オンライン状態	印刷可ランプ、主電源ランプ
オフライン状態	メッセージランプ、主電源ランプ



- 本プリンターのスリープモードには、スリープモード1(パネルオフモード)、スリープモード2(プリンタースリープモード)とスリープモード3(ディープスリープモード)があります。スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第2章 プリンターの設置」を参照してください
- 「スリープ時刻」で設定した時刻になっても、プリンターがジョブ中の場合は、スリープモードに移行しません。
- プリンターがエラー状態のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定することができます。(→エラースリープ:P.3-10)

■ スリープ時刻

00:00 ~ 12:00 ~ 23:59

「スリープタイマー」(→ 前項目)を「使う」に設定したときに、本項目で設定した時刻になるとスリープモードに移行します。

毎日同じ時刻にプリンターをスリープモードにしたい場合に便利です。

■ ディープスリープタイマー

使わない、使う

「ディープスリープ時刻」(→次項目)で設定した時間になったときに、スリープモード 3(ディープスリープモード)に移行するかどうかを設定します。

「使う」に設定すると、「ディープスリープ時刻」で設定した時刻にスリープモード 3(ディープスリープモード)に移行します。

「使わない」に設定すると、「ディープスリープ時刻」で設定した時刻になってもスリープモード 3(ディープスリープモード)に移行しません。

スリープモード 3(ディープスリープモード)は、スリープモードの中で最も節電効果が高いモードです。



スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章 プリンターの設置」を参照してください。

■ ディープスリープ時刻

00:00 ～ 12:00 ～ 23:59

「ディープスリープタイマー」（→前項目）を「使う」に設定したときに、本項目で設定した時刻になるとスリープモード 3（ディープスリープモード）に移行します。

毎日同じ時刻にプリンターをスリープモード 3（ディープスリープモード）にしたい場合に便利です。

メモ　スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章 プリンターの設置」を参照してください。

警告処理

トナー交換予告 ....継続、停止

以下の警告メッセージが表示されたときに、印刷を継続するか停止するかを設定します。

警告メッセージ	プリンターの状態
「16　トナー交換準備（継続して印刷できます）」	トナー残量が少なくなってきている

「継続」に設定すると、上記のメッセージを表示しながら印刷を継続します。
「停止」に設定すると、印刷を停止します。その後、表示されたメッセージにしたがって警告状態を解除すると、印刷が再開されます。

メモ　本項目を「停止」にした場合、「16　トナー交換準備（継続して印刷できます）」は「トナー残量を確認してください。」という表示に変わり印刷が停止します。

自動エラースキップ

しない、する

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除して印刷を続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「しない」に設定すると、［オンライン］を押してエラースキップさせる必要があります。

「する」に設定すると、［オンライン］を押さなくても自動的にエラースキップされます。



- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しく印刷されないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド「第6章 困ったときには」を参照してください。
- 本項目を「する」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、自動エラースキップ可能なエラーはすべて自動的にエラースキップします。

表示言語

日本語、English

ディスプレーに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。



English 表示の場合のメニュールートマップはありません。

ブザー

1 回、連続、オフ

メニュー操作時やエラー発生時に鳴るブザー音を設定します。
「1 回」に設定すると、ブザー音が 1 回だけ鳴ります。
「連続」に設定すると、エラー発生時のみ連続してブザー音が鳴ります。エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すとブザー音が止まります。
「オフ」に設定するとブザー音は鳴りません。



エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

トナー交換予告 ....する、しない
カセット用紙なし ....する、しない

印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態のことを警告状態と呼びます。プリンターがこの警告状態になると、ディスプレーにメッセージが表示されたり、ランプが点滅したりします。

本項目では、次の警告状態のときにメッセージの表示やランプの点滅をさせるかどうかを設定します。

本項目の設定	状態	メッセージ／ランプ点滅
トナー交換予告	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	16　トナー交換準備（継続して印刷できます）
カセット用紙なし	給紙カセットの用紙がなくなったとき	用紙がなくなった給紙段の給紙元表示ランプ点滅

メモ　本項目を「する」、「しない」のどちらに設定しても、印刷は行われます。

日付／時刻設定

日付 ....2001/01/01 ～ 2089/12/31
時刻 ....00:00:00 ～ 23:59:59

本プリンターには時計機能が内蔵されています。この時計はプリンターのメンテナンスや履歴の管理に使用されます。日付や時間が合っていないときに、本項目で設定します。

メモ
- 日付と時刻は工場出荷時に合わせられています。
- 本プリンターに内蔵されている時計の精度は、月差±60秒です。定期的に本項目で時刻を合わせてください。
- 日付と時刻は、操作パネルの以下のキーを使って入力します。
  - 数字の増減...［▲］［▼］
  - 設定箇所の移動...［◀］［▶］
  - 入力した日付または時間の決定 ....［OK］
- 日付と時刻の変更を行わない場合は、［オンライン］を押します。

PDL 選択（PnP）

LIPS LX、LIPS4

Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 をお使いの場合、プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続した際に、自動的に本プリンターのプリンタードライバーがインストールされることがあります。

このときにインストールされるプリンタードライバーの種類（「LIPS LX」か「LIPS4」）を本項目で選択できます。



- 手動でプリンタードライバーをインストールする場合は、必ず本項目の設定とインストールするプリンタードライバーの種類を合わせてください。異なる種類のプリンタードライバーは、使用できません。
- 本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

管理設定

■ セットアップキーのロック

しない、する

「する」に設定すると、［セットアップ］がロックされ、セットアップメニューを操作することができません。

「しない」に設定すると、ロックしません。



セットアップキーをロックした場合の解除はリモート UI からしか行えません。

画面調整

■ 画面コントラスト

-3 ～ 0 ～ +3

ディスプレーの表示が見づらいときは、本項目と「バックライトの明るさ」（→次項目）で見やすいように調節してください。

■ バックライトの明るさ

レベル 3、オフ、レベル 1、レベル 2

ディスプレーの表示が見づらいときは、本項目と「画面コントラスト」（→前項目）で見やすいように調節してください。

アニメーション表示

する、しない

紙づまりが発生したときやトナーカートリッジを交換するときに、ディスプレーにアニメーションを表示するかどうかを設定します。

トナー残量アイコン表示

する、しない

ディスプレーの右下に表示されるトナー残量アイコンを表示するかどうかを設定します。

設定完了通知

3 秒、しない、1 秒、2 秒

設定完了時に表示されるメッセージの表示秒数を設定します。
「しない」に設定すると、設定完了メッセージは表示されません。

給紙グループの設定項目

給紙グループでは、手差しトレイや給紙カセットから印刷するときの用紙サイズなどについて設定できます。

手差しトレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザー設定サイズ、ユーザー設定サイズ R、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、封筒 洋形長 3 号、A5、B5

手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。

重要

- 手差しトレイにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、セットする用紙サイズを変更するたびに設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、次のことに気をつけてください。
  - セットした用紙とプリンタードライバーの用紙サイズの設定が合っていることを確認してください。異なっている場合は、「用紙長さ確認」（→P.3-42）の設定によって、次のように動作します。

「用紙長さ確認」の設定値	プリンターの動作
しない（工場出荷時）	用紙サイズの設定が異なっていてもメッセージは表示されずに、現在セットされている用紙で印刷します。
する	「用紙サイズを確認してください。」のメッセージが表示されて印刷が中断されます。[オンライン]を押して、印刷を継続することもできますが、正しく印刷されなかったり、紙づまりが発生することがあります。

  - LIPS LXプリンタードライバーからユーザー設定用紙を印刷する場合、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が312.0mm以下のユーザー設定用紙をセットする場合は、横置きにセットしてください。また、LIPS LXプリンタードライバーから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

メモ

- 「ユーザー設定サイズ」、「ユーザー設定サイズR」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定して印刷したいときに選択します。印刷中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除して印刷してください。
- 封筒 角形2号、封筒 長形3号、封筒 洋形長3号に対応していますが、種類によっては印刷できないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPSプリンタードライバーの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

- 「往復はがき」の有効印字領域は、往復はがきを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。（LIPSプリンタードライバーの［仕上げ詳細］で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。）
- 給紙選択メニューの「手差しトレイ用紙サイズ」でも同様の設定ができます（→P.7-13）。

手差しトレイ優先

しない、する

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、プリンターが手差しトレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「しない」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は次の順序で行われます。

カセット 1→ カセット 2*→ カセット 3*→ カセット 4*→ 手差しトレイ

「する」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、手差しトレイから次の順序で行われます。

手差しトレイ → カセット 1→ カセット 2*→ カセット 3*→ カセット 4*

*：オプションのペーパーフィーダーが装着されている場合にのみ表示されます。



- 「用紙不一致時トレイ」（→P.3-20）が「使う」に設定されている場合は、本項目の設定は無視され、給紙カセットから検知を行います。給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→P.7-12）で設定します。
- 本項目は、給紙選択メニューの「給紙モード」が「自動」に設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「する」に設定しても、手差しトレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、手差しトレイからは給紙されません。ただし、「用紙不一致時トレイ」（→P.3-20）が「使う」に設定されている場合で、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていないときは、手差しトレイの用紙交換メッセージが表示されます。
- 受信データによっては、受信データと同じ用紙サイズの給紙カセットの給紙元表示ランプが点灯しているときに、本項目が「する」に設定されていても手差しトレイから給紙されずに給紙カセットから給紙される場合があります。

カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ

ユーザー設定サイズ、ユーザー設定サイズR、フリー

* 「カセット1用紙サイズ」は、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

* 「カセット2用紙サイズ」、「カセット3用紙サイズ」、「カセット4用紙サイズ」は、オプションのペーパーフィーダーが装着されていて、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

給紙カセット（カセット1、2、3、4）にセットした用紙サイズを設定します。

重要

- カセットにセットするユーザー設定用紙の向きを頻繁に変更する場合は、「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、セットする用紙サイズを変更するたびに設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、次のことに気をつけてください。
  - セットした用紙とプリンタードライバーの用紙サイズの設定が合っていることを確認してください。異なっている場合は、「用紙長さ確認」（→P.3-42）の設定によって、次のように動作します。

「用紙長さ確認」の設定値	プリンターの動作
しない（工場出荷時）	用紙サイズの設定が異なっていてもメッセージは表示されずに、現在セットされている用紙で印刷します。
する	「用紙サイズを確認してください。」のメッセージが表示されて印刷が中断されます。[オンライン]を押して、印刷を継続することもできますが、正しく印刷されなかったり、紙づまりが発生することがあります。

  - LIPS LXプリンタードライバーからユーザー設定用紙を印刷する場合、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が297.0mm以下のユーザー設定用紙をセットする場合は、横置きにセットしてください。また、LIPS LXプリンタードライバーから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

メモ

- 「ユーザー設定サイズ」、「ユーザー設定サイズR」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定して印刷したいときに選択します。印刷中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除して印刷してください。
- 給紙選択メニューの「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」でも同様の設定ができます（→P.7-13）。

デフォルト用紙サイズ

A4、B4、A3、レター、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4面はがき、封筒 角形2号、封筒 長形3号、封筒 洋形長3号、A5、B5

Windows や Macintosh から印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙サイズを設定するため、本項目の設定は必要ありません。
プリンタードライバーで用紙サイズを設定できない、MS-DOS や UNIX などから印刷する場合は、本項目で設定してください。

用紙不一致時トレイ

使わない、使う

給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合の動作を設定します。

「使わない」に設定すると、給紙カセットの用紙交換メッセージが表示され、印刷が中断します。

「使う」に設定すると、手差しトレイから給紙します。手差しトレイにセットされている用紙が、受信データと異なる場合は、手差しトレイの用紙交換メッセージが表示され、印刷が中断します。また、手差しトレイに用紙がセットされていないときや用紙がなくなったときは、手差しトレイの用紙なしメッセージが表示され、印刷が中断します。

メモ　本項目を「使う」に設定すると、「手差しトレイ優先」（→P.3-18）、「自動選択」（→P.3-20）の「手差しトレイ」の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。

自動選択

手差しトレイ...............................使う、使わない
カセット 1...................................使う、使わない
カセット 2*.................................使う、使わない
カセット 3*.................................使う、使わない
カセット 4*.................................使う、使わない

* オプションのペーパーフィーダーが装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。

手差しトレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「使う」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「使わない」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

メモ
- 「用紙不一致時トレイ」（→P.3-20）が「使う」に設定されている場合は、本項目の「手差しトレイ」の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→P.7-12）で設定します。

デフォルト用紙種類

普通紙、普通紙 L、普通紙 H、厚紙 L、厚紙 H、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙

Windows や Macintosh から印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類を設定するため、本項目の設定は必要ありません。
プリンタードライバーで用紙の種類を設定できない、MS-DOS や UNIX などから印刷する場合は、本項目で設定してください。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

- 「普通紙」　　　　：普通紙（60 ～ 105g/m^2）
- 「普通紙 L」　　　：「普通紙」に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、「普通紙 L」に設定してください。
- 「普通紙 H」　　　：「普通紙」に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、「普通紙 H」に設定してください。
- 「厚紙 L」　　　　：厚紙（106 ～ 199g/m^2）
- 「厚紙 H」　　　　：「厚紙 L」に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、「厚紙 H」に設定してください。
- 「OHP フィルム」：OHP フィルム
- 「はがき」　　　　：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、キヤノン推奨 4 面はがき
- 「封筒」　　　　　：封筒
- 「ラベル用紙」　　：ラベル用紙

重要

- 「OHPフィルム」、「はがき」、「封筒」、「ラベル用紙」に設定した場合、両面印刷は行えません。
- 本プリンターは、はがき、往復はがき、4面はがきサイズの普通紙（60～105g/m^2）と厚紙（106～199g/m^2）やキヤノン推奨4面はがきに印刷することができます。はがき、往復はがき、4面はがきサイズの普通紙（60～105g/m^2）に印刷する場合は、「普通紙」を選択し、厚紙（106～199g/m^2）に印刷する場合は、「厚紙L」を選択します。

両面印刷

しない、する

* 本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。

「する」に設定すると、用紙の両面に印刷します。

重要

通常、Windows や Macintosh から印刷する場合は、プリンタードライバーで両面印刷を設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするコンピューターから印刷する場合で、両面印刷が設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ

- A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11×17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズおよび以下のサイズのユーザー設定用紙の普通紙と重さ106〜120g/m^{2}の厚紙に自動両面印刷できます。詳しくはユーザーズガイド「第4章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
  - 縦置きの場合：幅210.0〜297.0mm、長さ210.0〜431.8mm
  - 横置きの場合（LIPS LXプリンタードライバー使用時のみ）：幅210.0〜297.0mm、長さ148.0〜297.0mm
- ロゴ入りの用紙などに自動両面印刷するときは、次のように用紙をセットしてください。
  - 給紙カセットから印刷するときは、1ページ目の印刷面を上にしてセットします。
  - 手差しトレイから印刷するときは、1ページ目の印刷面を下にしてセットします。
- 給紙選択メニューの「両面印刷」でも同様の設定ができます（→P.7-13）

3

共通セットアップメニューの設定項目

標準ネットワークグループの設定項目

* 標準ネットワークグループは、「インターフェイス選択」（→ P.3-39）の「ネットワーク」の項目が「使う」に設定されている場合にのみ表示されます。

TCP/IP 設定

■ IPv4設定

IP モード...手動、自動
プロトコル *1：
DHCP によるアドレス設定 ....オフ、オン
BOOTP によるアドレス設定 ....オフ、オン
RARP によるアドレス設定.......................オフ、オン
IP アドレス設定：
IP アドレス 0.0.0.0
サブネットマスク.....................................0.0.0.0
ゲートウェイアドレス 0.0.0.0
IP アドレス範囲設定：
受信／印刷拒否 ....しない、する
拒否アドレス設定 *2 ....拒否 IP アドレス 1 ～ 8
受信／印刷許可 ....しない、する
許可アドレス設定 *2 ....許可 IP アドレス 1 ～ 8
設定／参照拒否 ....しない、する
拒否アドレス設定 *2 ....拒否 IP アドレス 1 ～ 8
設定／参照許可 ....しない、する
許可アドレス設定 *2 ....許可 IP アドレス 1 ～ 8
DNS：
プライマリー DNS サーバーアドレス 0.0.0.0
セカンダリー DNS サーバーアドレス 0.0.0.0

*1 「プロトコル」は、「IPモード」が「自動」に設定されている場合にのみ表示されます。

*2 「拒否アドレス設定」、「許可アドレス設定」は、「受信／印刷拒否」、「受信／印刷許可」、「設定／参照拒否」、「設定／参照許可」が「する」に設定されている場合にのみ表示されます。

本プリンターに内蔵されているプリントサーバーの TCP/IP 設定を行います。

設定項目	設定内容
IP モード	IP アドレスの設定方法を選択します。 ・ DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、「自動」を選択します。 ・ プリンターに直接 IP アドレスを割り当てる場合は、「手動」を選択します。
プロトコル	「IP モード」を「自動」に設定した場合、どのプロトコルを使用するかを選択します。「DHCP によるアドレス設定」、「BOOTP によるアドレス設定」、「RARP によるアドレス設定」をそれぞれ「オン」（使用する）か「オフ」（使用しない）に設定します。

設定項目	設定内容
IP アドレス設定	「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。アドレスの入力方法は、表の下にある「アドレスの入力方法」を参照してください。
IP アドレス範囲設定	印刷や設定できるユーザーを IP アドレスによって制限します。 ・ 特定のユーザーからの印刷を拒否するには、「受信／印刷拒否」を「する」に設定して、拒否するアドレスを「拒否アドレス設定」で設定します。 ・ 特定のユーザーからの印刷を許可するには、「受信／印刷許可」を「する」に設定して、許可するアドレスを「許可アドレス設定」で設定します。 ・ 特定のユーザーからの設定を拒否するには、「設定／参照拒否」を「する」に設定して、拒否するアドレスを「拒否アドレス設定」で設定します。 ・ 特定のユーザーからの設定を許可するには、「設定／参照許可」を「する」に設定して、許可するアドレスを「許可アドレス設定」で設定します。 「拒否アドレス設定」と「許可アドレス設定」は、次の手順で入力します。（ここでは、「拒否アドレス設定」の手順で説明します。「許可アドレス設定」も手順は同様です。） ① 「拒否アドレス設定」を選択して、［OK］を押します。 ② 「拒否 IP アドレス 1 開始」を選択して、［OK］を押します。 ③ 拒否する IP アドレスを入力して、［OK］を押します。アドレスの入力方法は、表の下にある「アドレスの入力方法」を参照してください。 ④ 「拒否 IP アドレス 1 終わり」に IP アドレスを入力すると、「拒否 IP アドレス 1 開始」から「拒否 IP アドレス 1 終わり」までの IP アドレスが拒否されます。例えば、以下の設定の場合、「192.168.0.200」から「192.168.0.211」までの 12 個の IP アドレスが拒否されます。 - 「拒否 IP アドレス 1 開始」に「192.168.0.200」を入力 - 「拒否 IP アドレス 1 終わり」に「192.168.0.211」を入力 ⑤ 続けて拒否する IP アドレスを入力する場合は、「拒否 IP アドレス 2 開始」に IP アドレスを入力します。最大 8 個まで入力できます。
DNS	DNS の「プライマリーアドレス」、「セカンダリーアドレス」を設定します。アドレスの入力方法は、表の下にある「アドレスの入力方法」を参照してください。 * ［DNS ホスト名］、［DNS ドメイン名］、［DNS の動的更新］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ネットワークガイド）

「アドレスの入力方法」

1. [◄] または [►] を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動します（フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります）。
2. 数値を入力します ([▲] を押すと数値が増え、[▼] を押すと数値が減少します)。
3. すべてのフィールドの数値を入力したら、［OK］を押して確定します。

 重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。



本項目は、次のすべての条件を満たしている場合にのみ表示されます。
- 「インターフェイス選択」の「ネットワーク」の項目が「使う」に設定されている
- ［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている

［優先ネットワーク設定］の設定は、リモート UI の［拡張カード］ページまたは、操作パネルの「拡張カード」（→P.3-40）で行います。

■ IPv6設定

IPv6 ....オフ、オン

IPv6 を使用する場合、「オン」に設定します。
IPv6 のアドレス設定は、リモート UI から行ってください。

■ WINSによる名前解決

オフ、オン

WINS による名前解決を行う場合、「オン」に設定します。



次の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）
- ［WINSサーバーアドレス］
- ［スコープID］

■ ARP/PING

オン、オフ

ARP/PING 機能を使用する場合、「オン」に設定します。

■ FTP

FTP 印刷 ....オフ、オン
FTP 設定 ....オフ、オン

FTP 印刷を使用する場合、「FTP 印刷」を「オン」に設定します。
FTP クライアントによる設定を行う場合、「FTP 設定」を「オン」に設定します。



［FTP 印刷ユーザー名］、［FTP 印刷パスワード］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）

■ LPD印刷

オン、オフ

LPD 印刷を使用する場合、「オン」に設定します。



［LPD バナーページの印刷］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）

■ RAW印刷

オン、オフ

RAW 印刷を使用する場合、「オン」に設定します。

メモ　［双方向］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）

■ BMLinkS

使わない、使う

BMLinkS を使用する場合、「使う」に設定します。

メモ　［BMLinkS］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ユーザーズガイド）

■ IPP印刷

オン、オフ

IPP 印刷を使用する場合、「オン」に設定します。

メモ　［IPP 認証］、［IPP ユーザー名］、［IPP パスワード］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）

■ WSD

WSD 印刷.....................................**オン、オフ**
WSD 参照 *1.................................**オン、オフ**
マルチキャスト探索.................**オン、オフ**

*1 「WSD 参照」は「WSD 印刷」が「オフ」に設定されている場合にのみ表示されます。

WSD 印刷を使用する場合、「WSD 印刷」を「オン」に設定し、次の設定を行います。

- WSDを使用してプリンターの情報取得を行う場合は、「WSD参照」を「オン」に設定します。「WSD印刷」を「オン」に設定すると、「WSD参照」は表示されません。（「WSD参照」は、「オン」に固定されます。）
- マルチキャストによる検索要求に応答する場合は、「マルチキャスト探索」を「オン」に設定します。

■ HTTP

オン、オフ

HTTP 機能を使用する場合、「オン」に設定します。
「オフ」に設定すると、リモート UI や IPP 印刷が使用できなくなります。

■ プロキシー設定

プロキシー..................................**オフ、オン**
サーバーアドレス *1................ −
ポート番号 *1..............................**0 〜 80 〜 99999**
同一ドメイン *1.........................**プロキシーを使用しない、プロキシーを使用**
プロキシー認証 *1 ....**オフ、オン**
ユーザー名 *2.............................. −
パスワード *2.............................. −

*1「プロキシー」が「オン」に設定されている場合にのみ表示されます。
*2「プロキシー認証」が「オン」に設定されている場合にのみ表示されます。

プロキシー機能を使用する場合、「プロキシー」を「オン」に設定します。
「サーバーアドレス」に、プロキシー機能で使用するプロキシーサーバーのアドレスを入力します。
「ポート番号」に、プロキシー機能で使用するプロキシーサーバーのポート番号を入力します。「0」〜「99999」の間で設定できます。
同一ドメインにもプロキシー機能を使用するときは、「同一ドメイン」を「プロキシーを使用」に設定します。
プロキシー認証機能を使用するときは、「プロキシー認証」を「オン」に設定します。
「ユーザー名」：プロキシー認証で使用するユーザー名を入力します。24 文字までの半角英数字を入力できます。
「パスワード」：プロキシー認証で使用するパスワードを入力します。24 文字までの半角英数字を入力できます。

■ SNTP

オフ、オン

SNTP クライアント機能を使用して時刻情報を得る場合、「オン」に設定します。



［NTP サーバー名］、［ポーリング間隔］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）

■ 探索応答

オン、オフ

マルチキャストを使用した探索に応答するように設定する場合、「オン」に設定します。



［スコープ名］の設定は、リモート UI から行ってください。（→ ネットワークガイド）

3
共通セットアップメニューの設定項目

■ MACアドレス設定

受信許可：しない、する
許可アドレス設定 *[1]：許可 MAC アドレス 1 〜 50

*1「許可アドレス設定」は「受信許可」が「する」に設定されている場合にのみ表示されます。

特定のMACアドレスを持つユーザーからのみアクセスを許可します。「受信許可」を「する」に設定して、許可するアドレスを「許可アドレス設定」で設定します。

①「許可アドレス設定」を選択して、［OK］を押します。
②「許可 MAC アドレス 1」を選択して、［OK］を押します。
③ 許可する MAC アドレスを入力して、［OK］を押します。
④ 続けて許可する MAC アドレスを入力する場合は、「許可 MAC アドレス 2」に MAC アドレスを入力します。最大 50 個まで入力できます。

3

共通セットアップメニューの設定項目

AppleTalk

オフ、オン

AppleTalk を使用するかどうかを設定します。



AppleTalk についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 5 章 AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）」を参照してください。

SNMPv1

オン、オフ

SNMPv1 プロトコルを使用するかどうかを設定します。

SNMPv1 についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 2 章ネットワークの共通設定」を参照してください。



本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

SNMPv3 設定

SNMPv3..オフ、オン
ユーザー設定 1 ～ 5*[1]
認証パスワード
暗号化パスワード

* [1] 「ユーザー設定1～5」は、「SNMPv3」の項目が「オン」に設定されている場合にのみ表示されます。

SNMPv3 プロトコルに関する設定をします。

SNMPv3 プロトコルで使用するユーザー情報 (認証パスワードと暗号化パスワード) を設定・変更する場合は、次の操作を行います。

1. ［▲］、［▼］で「ユーザー設定 N」(N= 1 ～ 5) を選択したあと、［OK］を押します。
2. ユーザー名 * を確認して、［OK］を押します。
   *「initial」(工場出荷値)、またはリモート UI で設定したユーザー名が表示されます。
3. ［▲］、［▼］で「認証パスワード」または「暗号化パスワード」を選択したあと、［OK］を押します。
4. パスワードを入力して、［OK］を押します。
   入力方法：
   ・［▲］、［▼］を押して、6 ～ 16 文字のパスワードを入力する
   ・［◄］、［►］を押して、入力したい各フィールドにカーソルを移動する (カーソルが点滅し、入力できるようになります)。
   ・［給紙選択］を押すと、カーソルの位置に文字 (スペース) が挿入されます。
   ・［ジョブ確認／中止］を押すと、カーソルの位置の文字が削除されます。



本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。



SNMPv3 についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 2 章ネットワークの共通設定」を参照してください。

起動待機時間

0 ～ 300 秒

電源をオンにしてから、プロトコルが起動するまでの時間を設定します。



起動待機時間についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワークの共通設定」を参照してください。

リモート UI 設定

リモート UI ....オン、オフ
SSL*1....................................オフ、オン

* 1 「SSL」は、「リモートUI設定」の「リモートUI」の項目が「オン」に設定されている場合にのみ表示されます。

リモート UI を使用するかどうかを設定します。
また、リモート UI の通信に SSL を使用するかどうかも設定します。

メモ　SSL についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 2 章ネットワークの共通設定」を参照してください。

Ethernet ドライバー

自動検出 .... オン、オフ
通信方式 *1 .... 半二重、全二重
Ethernet 種類 *1.................................... 10 Base-T、100 Base-TX

* 1 「通信方式」および「Ethernet種類」は、「自動検出」の項目が「オフ」に設定されている場合にのみ表示されます。

Ethernet ドライバーの設定を行います。

メモ
- Ethernetドライバーについての詳細は、ネットワークガイド／本編「第2章 ネットワークの共通設定」を参照してください。
- 本項目は、［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。［優先ネットワーク設定］の設定は、リモートUIの［拡張カード］ページまたは、操作パネルの「拡張カード」（→P.3-40）で行います。

MAC アドレス

（表示のみ）

本プリンターの MAC アドレスを表示します。

ネットワーク設定初期化

ー

初期化を行うと、標準ネットワークの設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

ネットワークの初期化は次の手順で行います。

1. ［セットアップ］を押します。
2. ［▲］または［▼］で「標準ネットワーク」を選択し、［OK］を押します。
3. 「設定変更は次回主電源オン時に有効になります。OK キーを押してこの画面を閉じてください。」と表示されますので、［OK］を押します。
4. ［▲］または［▼］で「ネットワーク設定初期化」を選択し、［OK］を押します。
5. 「実行しますか？」と表示されますので、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押すと、初期化が行われます。

* ［OK］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常の印刷ができる状態に戻ります。

レイアウトグループの設定項目

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、とじしろ用の余白の設定など、印刷するときの体裁に関わる条件について設定できます。

コピー枚数

1 〜 9999

印刷の部数を設定します。

設定値で指定した部数だけ印刷されます。

縦位置補正／横位置補正

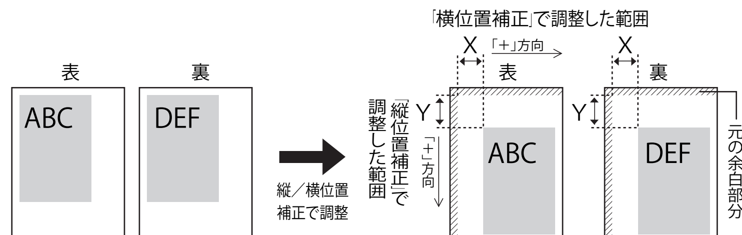
-50.0 〜 0.0 〜 50.0（mm）

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦位置補正： 設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

横位置補正： 設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。





印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。



［▲］を押すたびに設定値が 0.5mm ずつ増え、［▼］を押すたびに設定値が 0.5mm ずつ減ります。また、［▲］あるいは［▼］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

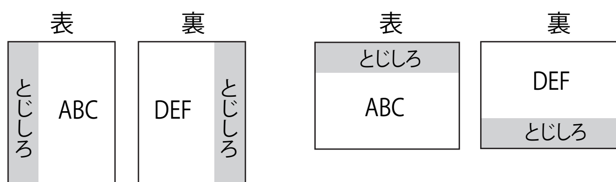
とじ方向

長辺とじ、短辺とじ

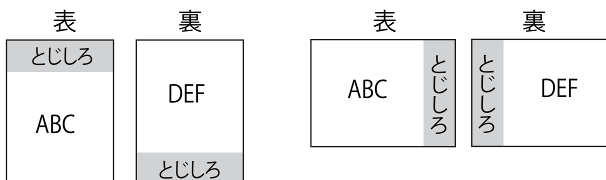
とじる位置を、用紙の長い辺（長手）にするか短い辺（短手）にするかを設定します。両面印刷をしてとじるときには、表面と裏面とで、とじしろの位置も自動的に調整します。

とじしろ用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、「とじしろ」（→P.3-34）で設定します。

「長辺とじ」に設定すると、とじる位置を用紙の長い辺にします。



「短辺とじ」に設定すると、とじる位置を用紙の短い辺にします。



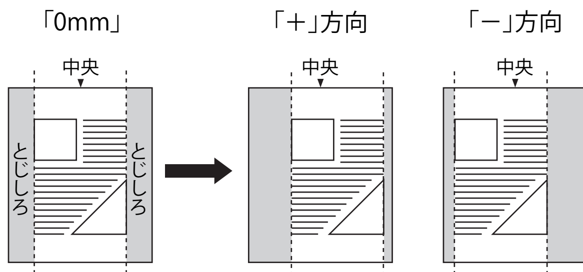


本項目だけを設定してもとじしろをあけることはできません。「とじしろ」と組み合わせて設定することによって、とじしろをあけることができます。

とじしろ

-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0（mm）

とじしろ用の余白をあけて印刷するときの、余白の幅を設定します。設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で画像を－方向にずらします。



用紙の長短どちらの辺にとじしろをあけるのかは「とじ方向」（→P.3-33）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじしろをあけるかは、「とじ方向」の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

重要　とじしろを設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ

- ［▲］を押すたびに設定値が0.5mmずつ増え、［▼］を押すたびに設定値が0.5mmずつ減ります。また、［▲］あるいは［▼］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 「縦位置補正」、「横位置補正」と本項目を同時に設定した場合は、「縦位置補正」、「横位置補正」の処理が行われたあとで本項目の処理が行われます。

●とじ方向ととじしろの設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじしろを設定してください。

用紙を縦に使ってとじしろをあけて印刷したいとき 表	裏（両面印刷時）		用紙を横に使ってとじしろをあけて印刷したいとき 表	裏（両面印刷時）
ABC	DEF	とじ方向 ：長辺とじ とじしろ ：「＋」方向	ABCDE	FGHIJK
ABC	DEF	とじ方向 ：長辺とじ とじしろ ：「－」方向	ABCDE	FGHIJK
ABC	DEF	とじ方向 ：短辺とじ とじしろ ：「＋」方向	ABCDE	FGHIJK
ABC	DEF	とじ方向 ：短辺とじ とじしろ ：「－」方向	ABCDE	FGHIJK

用紙を縦に使って印刷するか、横に使って印刷するかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

特殊両面処理

する、しない

本項目を「する」に設定すると、両面印刷ジョブの最後のページが片面の場合、最後のページを片面印刷で処理します。（通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。）
ただし、パンチ紙やプレプリント紙（あらかじめ印刷している紙）に両面印刷する場合、最後のページの向きや表裏が他のページと異なることがあります。そのときは「しない」に設定してください。



本項目を「する」に設定すると、次の場合も片面印刷で処理します。

- 裏面（偶数ページ）が白紙ページの場合
- 裏面（偶数ページ）が両面印刷できないページ（両面印刷できない用紙サイズなど）の場合

印字調整グループの設定項目

印字調整グループでは、トナー濃度や中間調の設定など、印刷の品質について設定できます。

スーパースムーズ

使う、使わない

文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理を使うかどうかを設定します。

「使う」に設定すると、スムージング処理を使って印刷します。

「使わない」に設定すると、スムージング処理を使わずに印刷します。



- スーパースムージングの効果は、文字やグラフィック（図・表・グラフなど）のパターンによって異なります。
- 「階調処理」（→P.3-36）の項目が「高階調」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、「使わない」に設定した場合と同様に処理されます。

階調処理

標準、高階調

印刷するときの、データの階調処理の方法を設定します。

「標準」は、比較的安定した画質を得られるため、一般的な文書や表を印刷する場合に向いています。

「高階調」は、写真やグラデーションなどの複雑な階調を持つデータを印刷するのに向いており、「標準」に設定した場合よりもきめ細かな階調表現が可能です。

ドラフトモード

使わない、使う

ドラフトモードはテスト印刷をするために使用します。



本項目を「使う」に設定すると、印刷結果が薄くなり、不鮮明になることがあります。また、ごく淡いグレーの階調部分などは逆に濃くなることがあります。

トナー濃度

-3 ～ 0 ～ +12

印刷するときの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

中間調選択

テキスト ....高解像度、解像度、階調、色調
グラフィックス.............階調、色調、高解像度、解像度
イメージ ....色調、高解像度、解像度、階調

印刷時の中間調の表現方法を設定します。

「テキスト」、「グラフィックス」、「イメージ」といったデータの種類ごとに設定することができます。

「色調」は、明暗のコントラストを効かせ、安定した質感とメリハリのある階調で印刷を行うことができます。写真画像などのイメージデータを印刷するのに適しています。

「階調」は、滑らかな階調と輪郭の品位を両立した印刷を行うことができます。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

「解像度」は、テキストデータ等の輪郭がはっきりと見えるような精細な印刷を行うことができます。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

「高解像度」は、「解像度」よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。



LIPS4、LIPS LX では選択された中間調によって階調特性が異なります。

画質警告

継続、停止

処理に必要なメモリーが不足したときに、自動的に画質を落として印刷を継続するか、以下のエラーメッセージを表示させて停止するかを設定します。

エラーメッセージ	設定内容
「指定した解像度では印刷できません。」	大量のデータや複雑なデータを受信すると、処理に必要なメモリーが不足して、画質を自動的に落として印刷することがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「継続」に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に画質を落として印刷します。

「停止」に設定すると、メッセージを表示して印刷を停止します。その場合、［オンライン］を押すと、画質を落として印刷を再開します。



本項目を「停止」に設定して、「指定した解像度では印刷できません。」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。

1. 「階調処理」の項目が「高階調」に設定されている場合は、「標準」に設定する。ただし、この場合は、階調を落として印刷します。
2. 1 の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずに印刷したい場合は、オプションの拡張メモリー（RAM）を増設する。

インターフェイスグループの設定項目

インターフェイスグループでは、コンピューターと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定できます。

インターフェイスグループは、設定項目によってコンピューターの側のユーティリティーソフトから行えない場合があります。このような設定項目は、プリンターの操作パネルで設定してください。

インターフェイス選択

USB..使う、使わない
ネットワーク..........................使う、使わない

コンピューターなどとの通信に使用するインターフェイスの種類について設定します。

それぞれのインターフェイスに対して「使う」、「使わない」の設定ができます。

複数のインターフェイスを「使う」に設定しても、先に受信したインターフェイスに自動的に切り替えるので、種類の異なるインターフェイスに同時に接続しているときでも、そのつどプリンター側で設定を変更する必要はありません。

 本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

タイムアウト

■ タイムアウト

する、しない

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンターは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えて印刷を開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。この処理を「ジョブ」といいます。

プリンター側ではジョブが終了しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます（LIPS/LIPS LX プリンタードライバーからの印刷データは終了できません）。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンター内にデータが残ったままの状態のときも、本項目を設定しておくと、自動的に排紙することができます。

「しない」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。



自動ジョブ終了を設定した場合、コンピューター側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しい印刷結果が得られないことがあります。その場合は、「タイムアウト時間」（→ 次項目）の設定を調節してください。



- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

■ タイムアウト時間

5 〜 15 〜 300 秒

*　本項目は、「タイムアウト」の項目が「する」に設定されている場合にのみ表示されます。

「タイムアウト」（→ 前項目）を「する」に設定した場合のタイムアウト時間を設定します。

拡張カード

ー

プリンターの拡張ボードスロットに装着したインターフェイスボードの設定です。インターフェイスボードを装着したときのみ設定項目が表示されます。詳細についてはインターフェイスボードに付属の取扱説明書を参照してください。

コネクション認識

する、しない

「標準ネットワーク」を使用して印刷した場合に、正しい印刷結果が得られないこと（文字化けやオーバーレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「しない」に設定してください。



本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

拡張受信バッファー

使わない、使う

* オプションのRAMが装着されている場合にのみ表示されます。

「使う」に設定すると、プリンターのデータを受け取る受信バッファーのメモリー容量を増やします。コンピューターから大量のデータや複雑なデータを送るときに、コンピューターの開放時間を早めることができます。



本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

ユーザーメンテナンスグループの設定項目

ユーザーメンテナンスグループでは、トラブル発生時のプリンターの調整について設定できます。

印字位置調整

縦位置補正（トレイ）........................-5.0 ～ 0.0 ～ 5.0（mm）
横位置補正（トレイ）........................-2.59 ～ 0.00 ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 1）.................-5.0 ～ 0.0 ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 1）.................-2.59 ～ 0.00 ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 2）*[1]...........-5.0 ～ 0.0 ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 2）*[1]...........-2.59 ～ 0.00 ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 3）*[1]...........-5.0 ～ 0.0 ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 3）*[1]...........-2.59 ～ 0.00 ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 4）*[1]...........-5.0 ～ 0.0 ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 4）*[1]...........-2.59 ～ 0.00 ～ 2.59（mm）
縦位置補正（両面）*[2].......................-5.0 ～ 0.0 ～ 5.0（mm）
横位置補正（両面）*[2].......................-2.59 ～ 0.00 ～ 2.59（mm）

*[1] オプションのペーパーフィーダーが装着されている場合にのみ表示されます。

*[2] 「縦位置補正（両面）」、「横位置補正（両面）」は、オプションの両面ユニットが装着されている場合にのみ表示されます。

指定した給紙元からの印字位置を設定します。設定値で指定した値だけ、縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値は mm で表されており、［▲］または［▼］を押して調整することができます。

印字位置の調整を行わない場合は、「0.0」または「0.00」に設定します。

「縦位置補正（両面）」、「横位置補正（両面）」は、両面印刷時の 1 ページ目の印字位置を設定します。両面印刷時の 2 ページ目はそれぞれの給紙元の設定にしたがいます。

重要 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- ユーティリティーメニューの「印字位置調整プリント」（→P.7-8）で設定した印字位置を確認することができます。
- 印字位置調整の操作については、ユーザーズガイド「第5章 日常のメンテナンス」を参照してください。
- 両面印刷時の2面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや「とじ方向」（→P.3-33）の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

リカバリー印刷

する、しない

紙づまりが起きた場合やエラーが発生して印刷が中断した場合、一部分でも印字されたページを印刷するかどうかを設定します。

「する」に設定すると、紙づまりが起きたページやエラーが起きたページから印刷しなおします。

「しない」に設定すると、紙づまりやエラーが起きたときに、一部分でも印字されたページは印刷を行わず、次のページから印刷を行います。

両面印刷の場合は、 1 面目の一部分でも印字されていたときは、2 面目のページも印刷を行いません。次のページの 1 面目から印刷されます。

用紙長さ確認

しない、する

「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」、「カセット 3 用紙サイズ」、「カセット 4 用紙サイズ」を「フリー」に設定した場合に、「用紙サイズを確認してください。」を表示させて印刷を中断するか、そのまま印刷するかを設定します。

「しない」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に手差しトレイや給紙カセットにセットされた用紙サイズが異なる場合でも、チェックを行わずに印刷します。ただし、印刷速度が低下することがあります。また、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズの大きさで印刷されるので、手差しトレイや給紙カセットにセットされた用紙がアプリケーションソフトで指定した用紙サイズと異なる場合は、余白があいたり、画像の一部が欠けたりすることがあります。

「する」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に手差しトレイや給紙カセットにセットされた用紙サイズが異なる場合、「用紙サイズを確認してください。」が表示されて、印刷が中断されることがあります。エラーとなった用紙は自動的に排紙されます。また、[オンライン] を押して、印刷を継続することもできます。ただし、正しく印刷されなかったり、紙づまりが発生することがあります。

 重要

自動両面印刷時には、本項目の設定に関わらず、必ず「用紙サイズを確認してください。」が表示されて、印刷が中断されます。

用紙サイズ置換

しない、する

印刷する用紙サイズがプリンターにセットされていないときに、次のサイズの用紙に置き換えて印刷します。

印刷する用紙		プリンタードライバーの設定
レター	→	A4
A4	→	レター
レジャー（11 × 17）	→	A3
A3	→	レジャー（11 × 17）

「する」に設定すると、用紙サイズの置き換えを行います。

「しない」に設定すると、用紙サイズの置き換えを行わずにエラーメッセージが表示され、印刷は停止します。



「する」に設定している場合でも、印刷する用紙サイズが用紙なしのときは、用紙サイズの置き換えを行いません。

特殊印字モード A

モード 1、モード 2、モード 3、モード 4

用紙の種類や使用環境によっては、印刷した用紙にすじ状の汚れが付着することがあります。

この場合、本項目を「モード 2」に設定してください。

「モード 2」に設定しても問題が解決しない場合は、「モード 3」に設定してください。

「モード 3」に設定しても問題が解決しない場合は、「モード 4」に設定してください。



- 用紙の種類や使用環境を変えることで設定値を「モード1」に戻しても、印刷した用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。
  その場合、設定値を「モード 1」にしてご使用ください。
- 「モード2」、「モード3」、「モード4」に設定すると、すじ状の汚れは軽減されますが、「モード1」に比べ印刷濃度が薄くなります。
  また、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが多少目立つことがあります。

うねり特殊処理

しない、する

用紙の種類によっては、しわがよることがあります。本項目を「する」に設定すると、この問題を改善できる場合があります。



本項目は通常「しない」に設定してご使用ください。上記の問題が発生したときのみ、「する」に設定してください。

ファームウェア更新

■ USB

ー

本項目は、プリンターのファームウェアをバージョンアップする必要があるときにのみ実行します。

■ 標準ネットワーク

ー

本項目は、プリンターのファームウェアをバージョンアップする必要があるときにのみ実行します。

ジョブ一覧表示

する、しない

操作パネルの［ジョブ確認 / 中止］を押したときに、ジョブ一覧画面を表示するかしないかを設定します。
「する」に設定すると、［ジョブ確認 / 中止］を押したときに、以下の画面が表示されます。
［▲］、［▼］でキャンセルするジョブを選択できます。

ジョブ確認/中止
1:user1 sample_1.pdf
2:user2 sample_2.pdf

「しない」に設定すると、［ジョブ確認 / 中止］を押したときに、以下の画面が表示されます。
［OK］を押すと、先頭のジョブ（ジョブ一覧画面の一番上のジョブ）をキャンセルします。

中止しますか?
OKキー:はい
戻る/左キー:いいえ

動作モードグループの設定項目

動作モードグループでは、エミュレーションの固定や優先などプリンターの動作モードについて設定できます。

動作モード選択

自動選択、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*、HP-GL/2*、HEX-DUMP、LIPS-DUMP

* 「N201」、「I5577」、「HP-GL」、「HP-GL/2」は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード選択では、本プリンターが動作するモードを設定することができます。コンピューターから送信されたデータによって自動的に動作モードを切り替えるか、LIPS、ESC/P の各モードやオプションのエミュレーションモード（N201、I5577、HP-GL、HP-GL/2）に動作モードを固定して本プリンターを使用するかを設定できます。

また、データを文字や図形に変換せずに、16 進コードで印刷する「HEX-DUMP」や、LIPS のコントロールコマンドの状態で印刷する「LIPS-DUMP」で印刷することもできます。



「LIPS」、「LIPS-DUMP」は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効になります。

「自動選択」：（自動切り替えモード）

コンピューターから送信されたデータが、LIPS コマンド、ESC/P エミュレーションコマンド、オプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションソフトから印刷する場合、通常はこのモードでお使いください。

工場出荷時は、「自動選択」が設定されています。



オプションのコントロール ROM を装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。



工場出荷時の状態では、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行いますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。詳しくは、「自動切替」（→P.3-49）を参照してください。

「LIPS」：（LIPS モード）

動作モードを LIPS モードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが LIPS に限られる場合や、自動切り替えでうまく LIPS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「N201」：（N201 エミュレーションモード）

動作モードを N201 エミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ表示されます。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが N201 に限られる場合や、自動切り替えでうまく N201 エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「ESC/P」：（ESC/P エミュレーションモード）

動作モードを ESC/P エミュレーションモードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが ESC/P に限られる場合や、自動切り替えでうまく ESC/P エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「I5577」：（I5577 エミュレーションモード）

動作モードを I5577 エミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ表示されます。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが I5577 に限られる場合や、自動切り替えでうまく I5577 エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「HP-GL」：（HP-GL エミュレーションモード）

動作モードを HP-GL エミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ表示されます。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが HP-GL に限られる場合や、自動切り替えでうまく HP-GL エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「HP-GL/2」：（HP-GL/2 エミュレーションモード）

動作モードを HP-GL/2 エミュレーションモードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが HP-GL/2 に限られる場合や、自動切り替えでうまく HP-GL/2 エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「HEX-DUMP」：（ヘキサダンプモード）

コンピューターから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードで印刷します。コンピューターからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」（→P.8-14）を参照してください。

「LIPS-DUMP」：（LIPS ダンプモード）

コンピューターから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷します。コンピューターからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」（→P.8-15）を参照してください。

●動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンター選択画面で、常に特定のプリンター名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して自動的に動作モードを切り替えて印刷します。

自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、セットアップメニューのインターフェイスグループの「タイムアウト」（→P.3-39）、「タイムアウト時間」（→ P.3-40）を設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから 15 秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

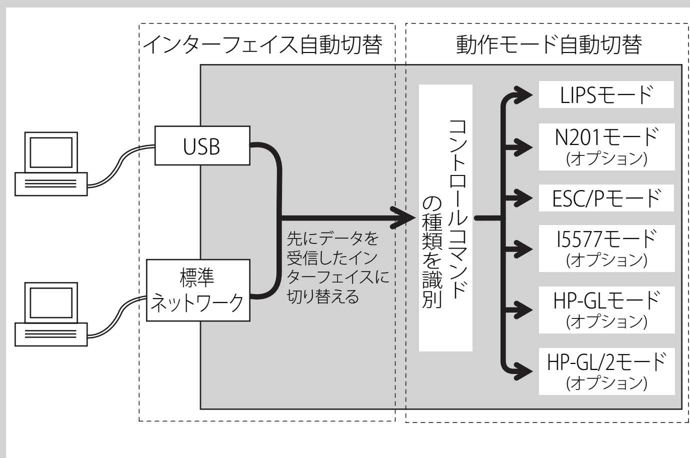
また、本プリンターにはインターフェイスの種類を自動的に切り替える機能もあります。インターフェイスの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、次の順番で切り替えます。

①インターフェイスを切り替える

データを先に受信したインターフェイスに自動的に切り替えます。

②動作モードを切り替える

受信したデータのコントロールコマンドの種類を識別して、動作モードを自動的に切り替えます。



3

共通セットアップメニューの設定項目

自動切替

LIPS..使う、使わない
N201* ....使う、使わない
ESC/P ....使う、使わない
I5577*....................................使う、使わない
HP-GL*...................................使う、使わない
HP-GL/2* ....使う、使わない

* 「N201」、「I5577」、「HP-GL」、「HP-GL/2」は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード自動切り替えが設定されている場合の、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS エミュレーション、ESC/P エミュレーション、オプションのエミュレーションの各モードについて設定します。

「使う」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象とします。「使わない」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象としません。



- 動作モード自動切り替えは、「動作モード選択」（→P.3-45）で設定します。
- 本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モード自動切り替えが設定された場合は、「優先エミュレーション」（→P.3-49）で設定されたモードで動作します。

優先エミュレーション

なし、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*、HP-GL/2*

* 「N201」、「I5577」、「HP-GL」、「HP-GL/2」は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、本プリンターがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

「なし」に設定すると、優先エミュレーションを設定しません。コントロールコマンドを識別できなかった場合は、本プリンターが自動的に動作モードを決定します。

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

4

CHAPTER

この章では、LIPS モードに固有の LIPS 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。LIPS 専用セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II^{+}、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効な「LIPS4 設定」と、LIPS LX を使用しているときのみ有効な「LIPS LX 設定」があります。

LIPS 専用セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ LIPS4設定

設定項目	設定値	参照ページ
拡大／縮小	**しない**、→A3、→B4、→A4、→B5、→A5、→はがき、→往復はがき、→4面はがき、→リーガル、→レター	P.4-4
複数ページ印刷	**しない**、2ページ（左）、2ページ（右）、4ページ（横ー左）、4ページ（横ー右）、4ページ（縦ー左）、4ページ（縦ー右）	P.4-4
複数ページ余白	**パターン1**、パターン2	P.4-6
ページの向き	**縦**、横	P.4-7
オーバーレイ1／2	オーバーレイ1／2設定：**しない**、する オーバーレイ1／2番号*：**0**～32767	P.4-8
スタートアップマクロ	0～**30**～32767	P.4-9
漢字コード	**JIS**、シフトJIS、EUC、DEC	P.4-9
文字サイズ	**10ポイント**、12ポイント、8ポイント	P.4-11
漢字書体	**明朝**、ゴシック	P4-11
ANK書体	**明朝**、ゴシック、ラインプリンター	P.4-11
漢字グラフィックセット	**JIS90**、JIS78	P.4-12
行数	行数選択：**6 lpi**、8 lpi、任意設定 任意設定値*：**10**～99	P.4-12
桁数	桁数選択：**自動**、10 cpi、12 cpi、15 cpi、任意設定 任意設定値*：**10**～200	P.4-12
自動改ページ	**する**、しない	P.4-13
自動改行	**する**、しない	P.4-13
CR機能	**CRのみ**、CR+LF	P.4-13
LF機能	**LFのみ**、LF+CR	P.4-13
網かけ解像度	**クイック**、ファイン	P.4-14
ジョブタイムアウト	**しない**、する	P.4-14
白紙節約	**する**、しない	P.4-14

■ LIPS LX設定

設定項目	設定値	参照ページ
白紙節約	**する**、しない	P.4-15

LIPS4 設定メニューの設定項目

LIPS4 設定メニューでは、拡大／縮小や複数ページ印刷などについて設定できます。

メモ　LIPS4 設定メニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効です。

拡大／縮小

しない、→A3、→B4、→A4、→B5、→A5、→ はがき、→ 往復はがき、→4 面はがき、→ リーガル、→ レター

拡大または縮小の設定をします。

アプリケーションソフトで作成したデータサイズと、設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に倍率を計算し、拡大／縮小して印刷します。

メモ
- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- 拡大／縮小で印刷すると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小して印刷されないことがあります。
- 拡大／縮小率が25～200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍で印刷されます。この場合正しい印刷結果にはなりません。

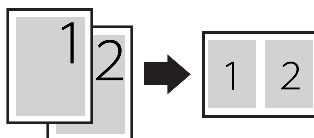
複数ページ印刷

しない、2 ページ（左）、2 ページ（右）、4 ページ（横－左）、4 ページ（横－右）、4 ページ（縦－左）、4 ページ（縦－右）

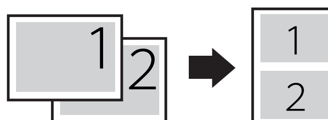
アプリケーションソフト側で作成したデータを、2 ページ分または 4 ページ分を並べて 1 ページに印刷できます。

「2 ページ（左）」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

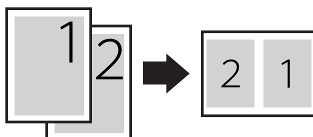


用紙を横に使って印刷する場合

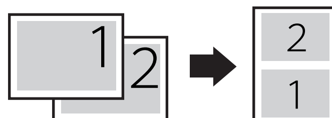


「2 ページ（右）」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

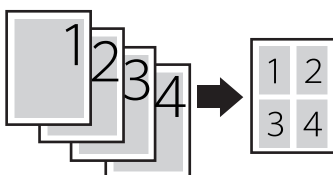


用紙を横に使って印刷する場合

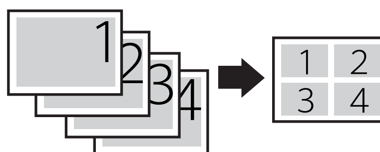


「4 ページ（横ー左）」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から横方向に並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

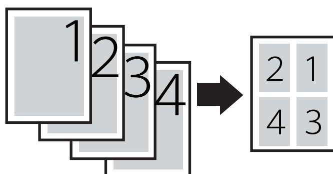


用紙を横に使って印刷する場合

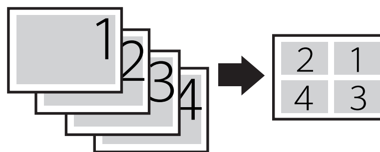


「4 ページ（横ー右）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から横方向に並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

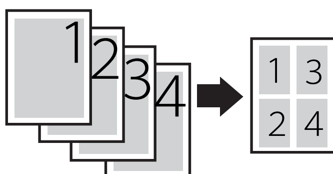


用紙を横に使って印刷する場合

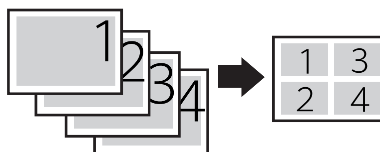


「4 ページ（縦ー左）」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から縦方向に並べて印刷します。

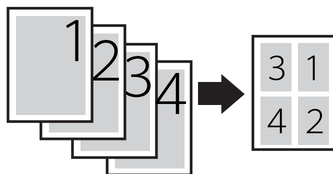
用紙を縦に使って印刷する場合

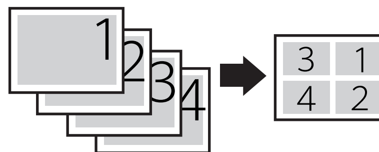


用紙を横に使って印刷する場合



「4 ページ（縦ー右）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から縦方向に並べて印刷します。







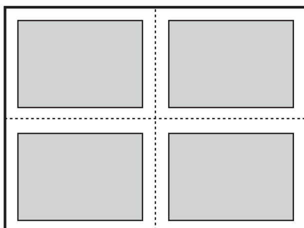
- 異なるサイズのページデータを並べて1ページに印刷することはできません。
- 拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しい印刷結果にはなりません。

複数ページ余白

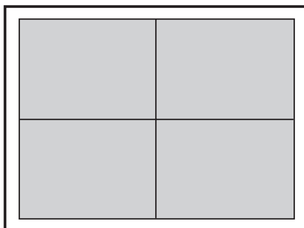
パターン 1、パターン 2

「複数ページ印刷」の機能を使って 2 ページ分または 4 ページ分を並べて印刷する場合の、余白のとりかたを設定します。

「パターン 1」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。



「パターン 2」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。





- 「パターン1」と「パターン2」とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。「パターン1」よりも「パターン2」のほうが若干画像が大きくなります。
- 「パターン2」に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。

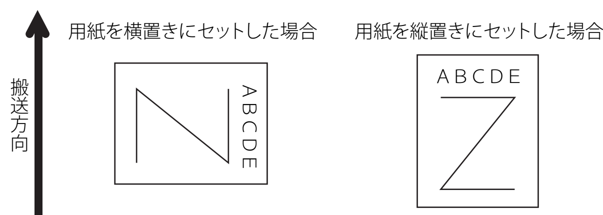
- LIPSプリンタードライバーの［仕上げ詳細］で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、本項目を「パターン1」に設定していても「パターン2」で処理されます。

ページの向き

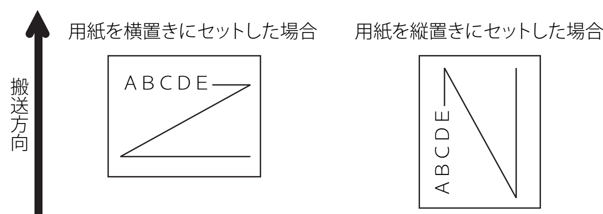
縦、横

用紙を縦に使用して印刷するのか、横に使用して印刷するのかを設定します。

「縦」に設定すると、用紙を縦に使用して印刷します。



「横」に設定すると、用紙を横に使用して印刷します。



オーバーレイ 1 ／オーバーレイ 2

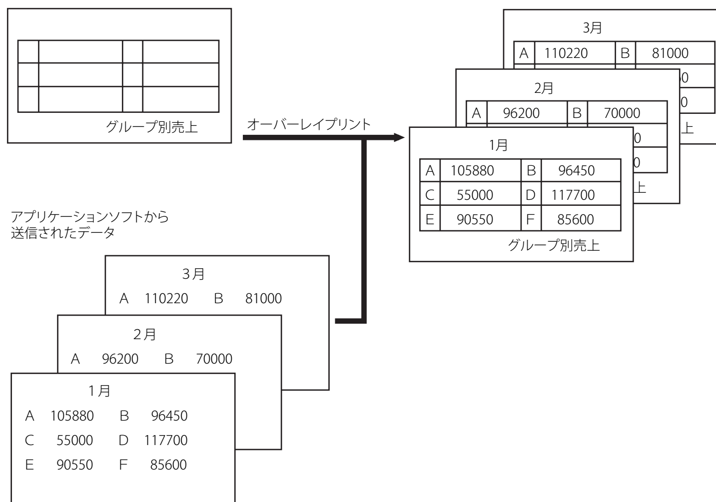
オーバーレイ 1 ／ 2 設定..................しない、する
オーバーレイ 1 ／ 2 番号 *1..............0 ～ 32767

*1 「オーバーレイ 1 ／ 2 番号」は、「オーバーレイ 1 ／ 2 設定」を「する」に設定している場合にのみ表示されます。

オーバーレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバーレイプリントを行う場合は、オーバーレイプリントで使用するフォーマットデータの番号を指定します。

オーバーレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンターのオーバーレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねて印刷する機能です。オーバーレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良く印刷することができます。

オーバーレイ領域には、 1 ページ分のフォーマットを最大で 32,768 種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに 0 ～ 32767 の番号をつけて登録します。本項目では、オーバーレイ 1 あるいはオーバーレイ 2 として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。





- オーバーレイの内容は、電源をオフにするか、ハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバーレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS専用ユーティリティーの「オーバーレイプリント」、「オーバーレイリスト」で確認することができます。詳しくは、「LIPSユーティリティー（LIPS専用ユーティリティー）」（→ P.7-4）を参照してください。
- 登録するフォーマットをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

スタートアップマクロ

0 ～ 30 ～ 32767

スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は「0」を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。

スタートアップマクロ機能は、あらかじめコンピューター側で作成した LIPS のコントロールコマンドのプログラムを、プリンターのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で 1 ～ 32,767 番までの 32,767 種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。プリンター側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。



- 登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS専用ユーティリティーの「マクロリスト」で確認することができます。詳しくは、「LIPSユーティリティー（LIPS専用ユーティリティー）」（→P.7-4）を参照してください。
- 登録するプログラムをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

漢字コード

JIS、シフト JIS、EUC、DEC

コンピューターで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

通常は「JIS」に設定しておきますが、次のような場合に「JIS」以外に設定します。

- アプリケーションソフトを使わず、MS-DOSの文字データをそのまま印刷するときには「シフトJIS」を設定します。
- UNIXをOSとするワークステーションやコンピューターを使用するときには「EUC」（Extended Unix Code：UNIX拡張コード）を設定します。
- DEC漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときには「DEC」（DECコード）を設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のようにG0～G3の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフトJIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0～G1	G0～G1	解除	解除

重要

- 「シフトJIS」に設定した場合は、LIPSのC1制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を7ビット形式で送信すれば、LIPSのコマンドとして動作します。
- 本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JISで規定されていない拡張文字などは印刷されません。
  上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。

メモ

- 指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用して印刷します。
- JIS漢字コードには「新JIS」と「旧JIS」があります。新JISと旧JISの切り替えは、「漢字グラフィックセット」（→P.4-12）で設定します。
- UNIXではEUCを採用していますが、中にはOSのデバイスドライバーがJIS漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピューターの操作説明書を参照してください。

文字サイズ

10ポイント、12ポイント、8ポイント

印字する文字の大きさをポイント数で設定します。

1ポイントは約0.35mm（1/72"）です。

コントロールコマンドでLIPS IIIまたはLIPS IVを使用しているときと、LIPS II^{+}を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際に印刷される大きさが次のように異なります。

「10ポイント」：LIPS III／IV＝10ポイント　LIPS II^{+}＝9.6ポイント

「12ポイント」：LIPS III／IV＝12ポイント　LIPS II^{+}＝12ポイント

「8ポイント」：LIPS III／IV＝8ポイント　LIPS II^{+}＝7.2ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II^{+}
8ポイント	8　文字サイズ	7.2　文字サイズ
10ポイント	10　文字サイズ	9.6　文字サイズ
12ポイント	12　文字サイズ	12　文字サイズ



LIPS II^{+}のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレーに表示されません。

漢字書体

明朝、ゴシック

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

「明朝」	「ゴシック」
明朝体	ゴシック体

ANK書体

明朝、ゴシック、ラインプリンター

半角英数字や半角カナなどのANK文字の書体を設定します。

ANKとは、Alphabet、Numeric、Kanaの略です。

明朝	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンター	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀｰ

漢字グラフィックセット

JIS90、JIS78

「漢字コード」(→P.4-9) の種類で「JIS」を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS 漢字コードには「新 JIS（JIS90）」と「旧 JIS（JIS78）」があります。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。



- グラフィックセットとは、コンピューターからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新JISと旧JISの漢字コード表は付属のCD-ROMに収められています。

行数

行数選択 ....6 lpi、8 lpi、任意設定
任意設定値 *1 ....10 〜 99

*1「任意設定値」は、「行数選択」を「任意設定」に設定している場合にのみ表示されます。

1 インチまたは 1 ページに印刷する行数を設定します。

LPI は Line Per Inch の略で、 1 インチあたりの行数の単位を表します。

「6LPI」に設定すると、 1 インチに 6 行印刷します。

「8LPI」に設定すると、 1 インチに 8 行印刷します。

「行数選択」を「任意設定」に設定して「任意設定値」を「10 〜 99」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 10 〜 99 行の範囲で設定します。

桁数

桁数選択 ....自動、10 cpi、12 cpi、15 cpi、任意設定
任意設定値 *1 ....10 〜 200

*1「任意設定値」は、「桁数選択」を「任意設定」に設定している場合にのみ表示されます。

1 インチまたは 1 行に印刷する文字数を設定します。

CPI は、Characters Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

「自動」に設定すると、現在選択しているフォントに応じた文字数で印刷します。

「10CPI」に設定すると、1 インチに 10 桁印刷します。

「12CPI」に設定すると、1 インチに 12 桁印刷します。

「15CPI」に設定すると、1 インチに 15 桁印刷します。

「桁数選択」を「任意設定」に設定して「任意設定値」を「10 〜 200」に設定すると、1 行に印刷する文字数を 10 〜 200 の範囲で設定します。

自動改ページ

する、しない

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページして印刷するかどうかを設定します。

「しない」に設定すると、コンピューターから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。

自動改行

する、しない

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行して印刷するかどうかを設定します。

「しない」に設定すると、コンピューターから復帰コード（CR）、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。

CR 機能

CR のみ、CR+LF

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「CR のみ」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。

「CR ＋ LF」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

LF 機能

LF のみ、LF+CR

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF のみ」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。

「LF ＋ CR」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけ解像度

クイック、ファイン

網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

「クイック」に設定すると、300dpi 用にデザインされたパターンを 2 倍に拡大して使用します。

「ファイン」に設定すると、600dpi 用にデザインされたパターンを使用します。「クイック」よりも高精度で印刷できます。

ジョブタイムアウト

しない、する

共通セットアップメニューの「タイムアウト」（→P.3-39）の設定を有効にするかどうかを設定します。



LIPS 対応のアプリケーションソフトから ESC/P などの他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を「する」に設定すると、タイムアウトで LIPS モードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

白紙節約

する、しない

アプリケーションソフトから送られた改ページコード（FF）と改ページコードの間に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「する」に設定すると、白紙を排出しません。「しない」に設定すると、白紙を排出します。

この機能を使用すると、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

LIPS LX 設定メニューの設定項目

LIPS LX 設定メニューでは、白紙節約について設定できます。



LIPS LX 設定メニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS LX を使用しているときのみ有効です。

白紙節約

する、しない

アプリケーションソフトから送られたページデータの中に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「する」に設定すると、白紙を排出しません。「しない」に設定すると、白紙を排出します。

この機能を使用すると、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

5
CHAPTER

この章では、ESC/P エミュレーションモードに固有の ESC/P 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目は、他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。
- オプションのコントロールROMを装着すると、「ESC/P専用セットアップメニュー」に設定項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロールROMの取扱説明書を参照してください。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
ページフォーマット	**実寸縦**、実寸横、10 インチ →A4 縦、15 インチ →A4 横、15 インチ →B4 横、B4→A4 縦、B4→A4 横	P.5-4
上余白	-127 ～ **0** ～ 127	P.5-6
用紙位置微調整	-127 ～ **0** ～ 127	P.5-7
領域	**標準**、ワイド	P.5-9
右マージン既定値	**136 桁**、右端	P.5-9
用紙サイズ	**A4**、B5、A5、はがき、A3、B4	P.5-9
2 ページ印刷設定	**しない**、左、右	P.5-10

■ フォントグループ

設定項目	設定値	参照ページ
漢字書体	**明朝**、ゴシック、フォント ID	P.5-11
フォント ID*	1 ～ **2** ～ 999	P.5-11
漢字サイズ	**システム**、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント	P.5-11
文字コード	**カタカナ**、グラフィックス	P.5-12
国別文字	**日本**、ノルウェー、デンマーク 2、スペイン 2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン	P.5-12

■ 印字機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
イメージの補正	**しない**、する	P.5-13
縮小文字	**しない**、する	P.5-13

■ 印字動作グループ

設定項目	設定値	参照ページ
改行機能	**LF コマンドを待つ**、改行	P.5-14

■ VFCグループ

設定項目	設定値	参照ページ
連続用紙長	設定方法：**システム**、任意設定 任意設定値 *：1 ～ **66** ～ 199 行	P.5-15
単票用紙長	設定方法：**システム**、任意設定 任意設定値 *：1 ～ **66** ～ 199 行	P.5-16
ミシン目スキップ	ミシン目スキップ：**しない**、する スキップ量 *：**1** ～ 31 行	P.5-16

■ その他のグループ

設定項目	設定値	参照ページ
登録レベル	**一時**、永久	P.5-17

ページレイアウトグループの設定項目

ページレイアウトグループでは、ESC/P 準拠プリンターから本プリンターへの用紙サイズの変換と、印刷する用紙サイズの設定や位置の調整などについて設定できます。

ページフォーマット

実寸縦、実寸横、10 インチ →A4 縦、15 インチ →A4 横、15 インチ →B4 横、B4→A4 縦、B4→A4 横

ESC/P 準拠プリンター用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンター用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」（→P.8-8）も併せて参照してください。なお、本プリンターにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）で設定します。

各設定値を設定した場合の処理は次のようになります。

メモ　用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

「実寸縦」

データの用紙サイズは変換せずに、実寸で印刷します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンターに縦置きにセットしたときと同じ印刷結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。

「実寸横」

データの用紙サイズは変換せずに、実寸で印刷します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンターに横置きにセットしたときと同じ印刷結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。

「10 インチ→ A4 縦」

10" × 11" 連続用紙に印刷することを想定して作成したデータ（80 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してポートレイトで印刷します。



- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）はA4サイズが基本ですが、A3、B4サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。
- 10"×11"連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。

「15 インチ→ A4 横」

15" × 11" 連続用紙に印刷することを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してランドスケープで印刷します。



- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）は、A4サイズが基本ですが、A3、B4サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。
- 15"×11"連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

「15 インチ→ B4 横」

15" × 11" 連続用紙に印刷することを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を B4 サイズに縮小してランドスケープで印刷します。



- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）は、B4サイズが基本ですが、A3サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。
- 15"×11"連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

「B4 → A4 縦」

B4 サイズの実寸縦用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのポートレイトで印刷します。



- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）は、A4サイズが基本ですが、A3、B4サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。

「B4 → A4 横」

B4 サイズの実寸横用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのランドスケープで印刷します。



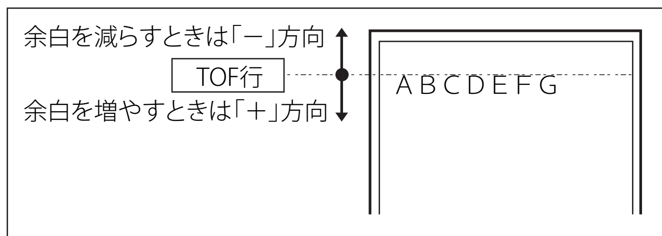
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（→P.5-9）は、A4サイズが基本ですが、A3、B4サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（→P.5-9）を参照してください。

上余白

-127 ～ 0 ～ 127

それぞれのページフォーマットで設定されている 1 行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「＋」の値で下方向、「－」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

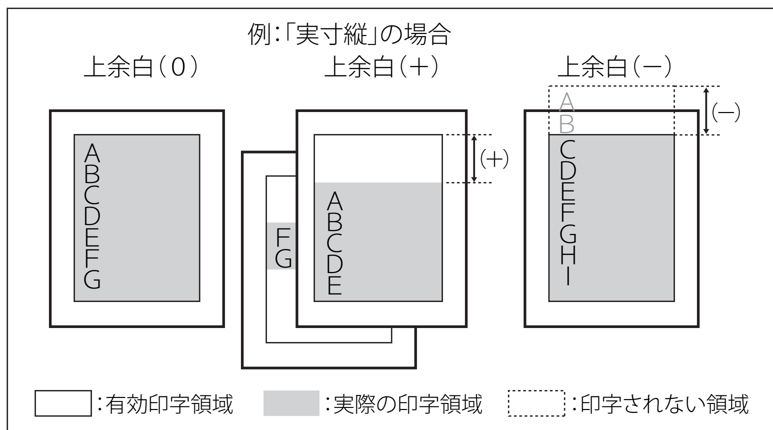




- 設定値が 1 増えると、ずらす位置が約0.35mm（1/72"）増えます。
- 用紙の上端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で-23mm、「0」で+22mm、「127」で+67mmです。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域によって印字開始位置は変わります。

カット紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

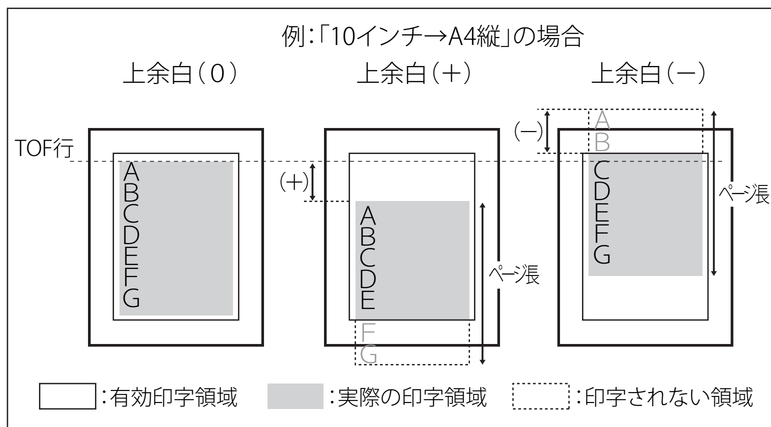




- 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次ページの 1 行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

連続用紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。





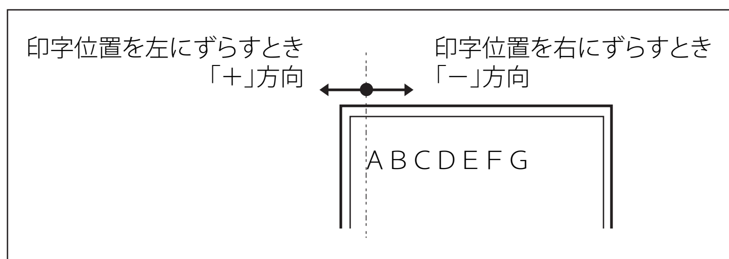
- 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

用紙位置微調整

-127 ～ 0 ～ 127

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

「＋」の値で左方向、「－」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。



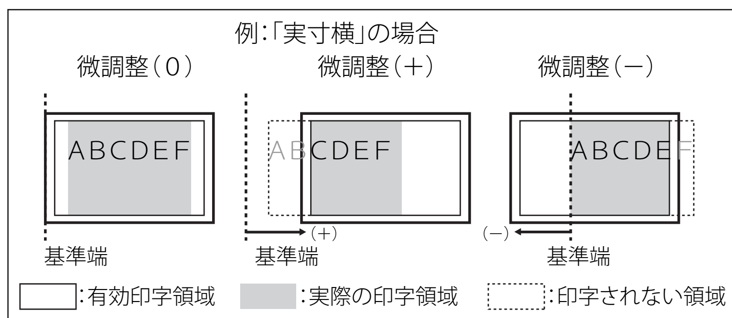


- 設定値が1増えると、ずらす位置が約0.35mm（1/72"）増えます。
- 用紙の左端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で+50mm、「0」で+5mm、「127」で-40mmです。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域モードによって印字開始位置が変わります。
- データに左端が欠けて印刷される場合は、本項目の設定を調節して本プリンターの印字領域内（上下左右5mm以内）に入るようにしてください。

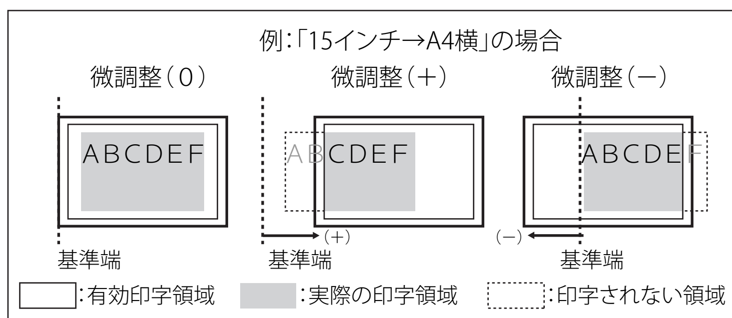
標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

- 実寸サイズで印刷するページフォーマットの場合

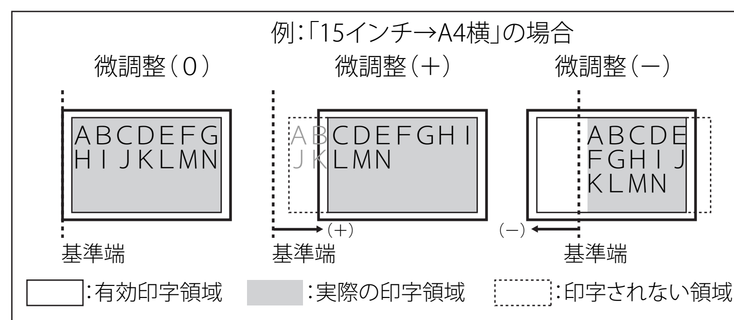


- 縮小印刷するページフォーマットの場合



ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



領域

標準、ワイド

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトで印刷する（標準）か、または本プリンターの有効印字領域ほぼいっぱいに印刷する（ワイド）かを設定します。実寸縦､実寸横で「用紙サイズ」が A3 のとき､および 10 インチ →A4 縦､15 インチ →A4 横、15 インチ →B4 横、B4→A4 縦、B4→A4 横のページフォーマットの場合に有効です。

ワイドに設定して印刷した場合、ESC/P 準拠プリンターのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使って印刷することができます。レイアウトについては、「 ESC/P エミュレーションのページフォーマット」（→P.8-8）も併せて参照してください。



用紙のサイズが小さい場合、「ワイド」に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。詳しくは、「ページフォーマットと印字範囲」（→P.8-13）を参照してください。

右マージン既定値

136 桁、右端

実寸サイズで印刷するページフォーマット（実寸縦、実寸横）のときの、右マージンの位置を設定します。

「136 桁」に設定すると、136 桁目の位置を右マージンとします。

「右端」に設定すると、用紙の有効印字領域の右端を右マージンとします。

用紙サイズ

A4、B5、A5、はがき、A3、B4

印刷する用紙のサイズを設定します。



本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。

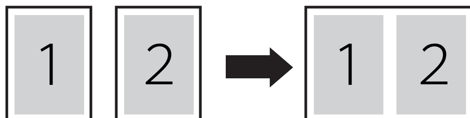
2 ページ印刷設定

しない、左、右

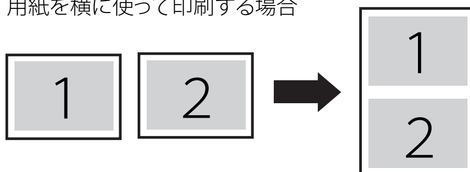
2 ページ分のデータを並べて 1 ページに印刷するかどうかを設定します。アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 または B5 サイズの場合に限り有効です。

「左」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

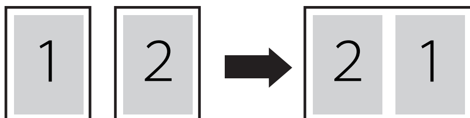


用紙を横に使って印刷する場合

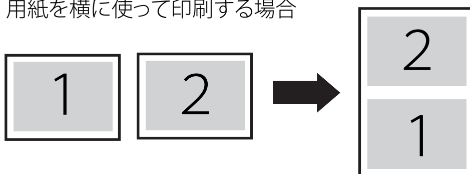


「右」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合



用紙を横に使って印刷する場合





- この機能では、縮小はせずに原寸で印刷するので、アプリケーションソフト側で作成したデータがA4サイズのときはA3サイズの用紙に印刷され、B5サイズのときはB4サイズの用紙に印刷されます。
- A4とB5サイズのデータを並べて1ページに印刷することはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態で印刷されます。

フォントグループの設定項目

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1 バイトコード表などについて設定できます。

漢字書体

明朝、ゴシック、フォント ID

漢字などの全角文字の書体を設定します。

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を「フォント ID」に設定したうえで、書体を ID 番号で指定します。ID 番号は「フォント ID」(→P.5-11)で指定します。

明朝体 ゴシック体	明朝 ゴシック

フォント ID

1 ～ 2 ～ 999

* 本項目は、「漢字書体」を「フォントID」に設定した場合にのみ表示されます。

「漢字書体」(→P.5-11)で「フォント ID」を設定した場合に、実際に使用する書体の ID 番号を指定します。



装着されていないオプション書体の番号を指定しないでください。



標準フォントの ID 番号は以下の通りです。

明朝体	002
ゴシック体	004

オプションフォント用の ID 番号については、使用するオプションフォントのマニュアルを参照してください。

漢字サイズ

システム、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

「システム」に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズで印刷します。実寸縦、実寸横、10 インチ →A4 縦、15 インチ →B4 横のページフォーマットでは 10 ポイント相当、15 インチ →A4 横、B4→A4 縦、B4→A4 横のページフォーマットでは 8 ポイント相当です。

文字コード

カタカナ、グラフィックス

１バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。

「カタカナ」に設定すると、データに１バイトコードの文字があったとき、カタカナの１バイトコード表に対応した文字で印刷します。

「グラフィックス」に設定すると、データに１バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの１バイトコード表に対応した文字で印刷します。



この機能は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。

国別文字

日本、ノルウェー、デンマーク 2、スペイン 2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン

１バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、指定の国の文字セットをセットします。

印字機能グループの設定項目

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字について設定できます。

イメージの補正

しない、する

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は「しない」に設定しておきます。次のような現象が出てしまうときに、本項目を「する」に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る



本項目を「する」に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンターの解像度が ESC/P 準拠プリンターとは異なるためです。

縮小文字

しない、する

1 バイトコード文字（ANK 文字）を縮小して印刷するかどうかを設定します。

「する」に設定すると、 1 バイトコード文字の横幅を 1/2 程度に縮小して印刷します。



- この機能は、ESC/P準拠プリンターのDIPスイッチの縮小印字機能に対応しています。
- 15CPIの文字は縮小印刷されません。

印字動作グループの設定項目

印字動作グループでは、1 行を印字したあとの改行動作について設定できます。

改行機能

LF コマンドを待つ、改行

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF コマンドを待つ」に設定すると、コンピューターから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

「改行」に設定すると、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても復帰／改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。



この機能は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの自動改行に対応しています。

VFC グループの設定項目

VFC グループは、連続用紙やカット紙のページ長について設定できます。

連続用紙長

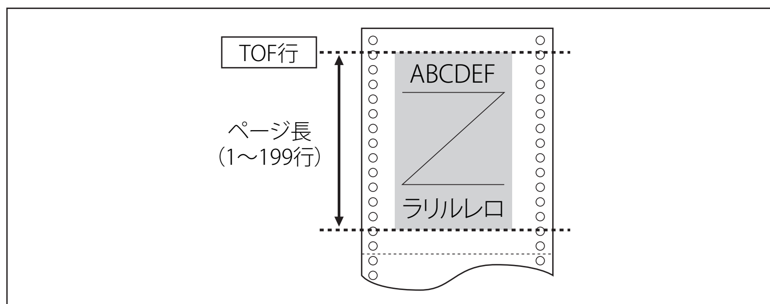
設定方法................................システム、任意設定
任意設定値 *1 ....1 ～ 66 ～ 199 行

*1 「任意設定値」は、「設定方法」を「任意設定」に設定している場合にのみ表示されます。

連続用紙（10 インチ →A4 縦、15 インチ →A4 横、15 インチ →B4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「設定方法」を「任意設定」に設定して「任意設定値」を「1」～「199」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 1 ～ 199 行の範囲で設定します。





- 行間は 1 インチあたり6行（6LPI）です（LPIは、Line Per Inchの略で、 1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約4.2mm（1/6インチ）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

単票用紙長

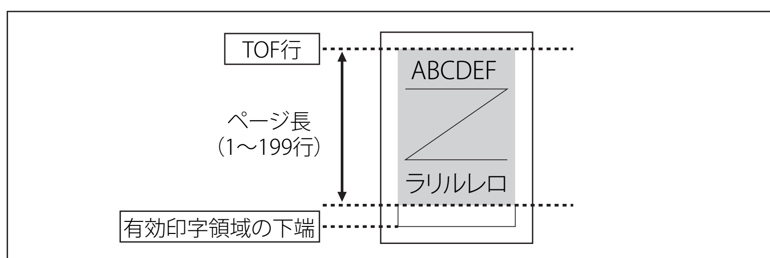
設定方法 ....システム、任意設定
任意設定値 *1 ....1 ～ 66 ～ 199 行

*1「任意設定値」は、「設定方法」を「任意設定」に設定している場合にのみ表示されます。

カット紙（実寸縦、実寸横、B4→A4 縦、B4→A4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「設定方法」を「任意設定」に設定して「任意設定値」を「1」～「199」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 1 ～ 199 行の範囲で設定します。





- 行間は 1 インチあたり6行（6LPI）です（LPIは、Line Per Inchの略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約4.2mm（1/6インチ）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

ミシン目スキップ ....しない、する
スキップ量 *1 ....1 ～ 31 行

*1「スキップ量」は、「ミシン目スキップ」を「する」に設定している場合にのみ表示されます。

ページ長で設定されている行数のうち、下端から印刷しない（スキップする）行数を設定します。

「しない」に設定すると、スキップしません。



- 行間は 1 インチあたり6行（6LPI）です（LPIは、Line Per Inchの略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、スキップされる領域が約4.2mm（1/6インチ）増えます。
- 10インチ→A4縦、15インチ→A4横、15インチ→B4横の連続用紙のページフォーマットと、B4→A4縦、B4→A4横のワイドモードで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

その他のグループの設定項目

その他のグループでは、登録文字の保存方法について設定できます。

登録レベル

一時、永久

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

「一時」に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

「永久」に設定すると、プリンターの電源をオフにするまで保存します。

登録内容を削除するには、次の手順でハードリセットを行います。

1. ［リセット］を押す
2. ［▲］で「ソフトリセット」を選択する
3. ［OK］を 5 秒以上押して、指を離す
4. ［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押す



- プリンターはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識して印刷を開始／終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は、「永久」に設定してください。

Imaging 専用セットアップメニューの設定項目

6
CHAPTER

この章では、ダイレクトプリントを使用するときに有効な Imaging 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。

Imaging 専用セットアップメニュー設定項目一覧

■ **表の見かた**

太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

設定項目	設定値	参照ページ
画像の向き	**自動**、縦、横	P.6-3
拡大／縮小	**しない**、自動	P.6-3
印字位置	**自動**、中央、左上	P.6-4
警告表示	**印刷**、パネル、しない	P.6-4
印字領域拡大	**しない**、する	P.6-4

Imaging 専用セットアップメニューの設定項目

Imaging 専用セットアップメニューでは、画像の向きや拡大／縮小印刷などについて設定できます。

画像の向き

自動、縦、横

画像を縦方向に印刷するか、横方向に印刷するかを設定します。

「自動」に設定すると、TIFF または JPEG データの画像の幅と高さを比較して、幅が大きければ、画像の向きを横に印刷します。高さが大きければ、画像の向きを縦に印刷します。

「縦」に設定すると、画像の幅と高さの比率に関係なく、画像を縦に印刷します。

「横」に設定すると、画像の幅と高さの比率に関係なく、画像を横に印刷します。

拡大／縮小

しない、自動

有効印字領域に合わせて、拡大または縮小するかどうかの設定をします。

「自動」に設定すると、画像のサイズが有効印字領域よりも大きい場合、有効印字領域におさまるように画像を縮小して印刷します。また、画像のサイズが有効印字領域よりも小さい場合、有効印字領域いっぱいに画像を拡大して印刷します。

重要

- 「しない」に設定した場合でも、出力用紙サイズより画像が大きい場合は印刷する用紙サイズの有効印字領域に画像がおさまるように自動的に縮小します。
- 「自動」に設定すると、TIFF形式のデータが持つTagが指定する印字位置は無視されます。

メモ

本項目では、縦と横の比率を固定して、画像を拡大または縮小します。

印字位置

自動、中央、左上

画像をどの位置に印字するかを設定します。

「自動」に設定すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されている場合は、指定された位置に印字します。印字位置が指定されていない場合は、中央に印字します。

「中央」に設定すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されていても、中央の位置に印刷します。

「左上」に設定すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されていても、左上の位置に印刷します。



JPEG 形式のデータには印字位置の指定がありません。「自動」に設定した場合は、中央に印刷されます。

警告表示

印刷、パネル、しない

エラー発生時のエラーの表示方法を設定します。

「印刷」に設定すると、エラーの内容を印刷しジョブを終了します。

「パネル」に設定すると、ディスプレーにエラーメッセージが表示され印刷を停止します。

「しない」に設定すると、エラーが発生しても何も表示を行わずにジョブを終了します。



本項目によりエラーの表示方法を変更できるのは、「イメージデータエラーが発生しました。」および「イメージ参照データエラーが発生しました。」です。

印字領域拡大

しない、する

印字領域を広げて印刷するかどうかを設定します。

「する」に設定すると、印字領域を広げて印刷します。

「しない」に設定すると、上下左右とも周囲 5mm を除いた範囲が有効印字領域となります。



「する」に設定した場合、用紙の周囲の画像が欠ける場合があります。

セットアップ以外のメニューの設定項目

7

CHAPTER

この章では、セットアップメニュー以外のメニューで設定できる内容について説明しています。

セットアップ以外のメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印の付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で表示されている項目は、工場出荷時の値です。

■ ユーティリティーメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
共通ステータスプリント	ー	P.7-4
ネットワークステータスプリント	ー	P.7-4
LIPS ユーティリティー	ステータスプリント、フォントリスト、オーバーレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバーレイプリント	P.7-4
ESC/P ユーティリティー	ステータスプリント、オーバーレイプリント *	P.7-5
N201 ユーティリティー *	ステータスプリント、オーバーレイプリント	P.7-6
I5577 ユーティリティー *	ステータスプリント、オーバーレイプリント	P.7-6
HP-GL ユーティリティー *	ステータスプリント、サンプルプリント	P.7-7
HP-GL/2 ユーティリティー *	ステータスプリント、サンプルプリント	P.7-7
クリーニング	A4、LTR	P.7-7
拡張カードリスト *	ー	P.7-8
印字位置調整プリント	ー	P.7-8
総印刷ページ数	ー	P.7-8
消耗品確認	給紙情報、トナー型番、トナー残量	P.7-8

■ ジョブメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ジョブ印刷履歴リスト *	ー	P.7-9
レポート印刷履歴リスト *	ー	P.7-9

■ リセットメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ソフトリセット／ハードリセット	─	P.7-10
排出	─	P.7-11
シャットダウン	─	P.7-11

■ 給紙選択メニュー

設定項目	設定値	参照ページ
給紙モード	**自動**、カセット 1、カセット 2*、カセット 3*、カセット 4*、手差しトレイ	P.7-12
手差しトレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザー設定サイズ、ユーザー設定サイズ R、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、封筒 洋形長 3 号、A5、B5	P.7-13
カセット N（N=1、2、3、4）用紙サイズ *	**ユーザー設定サイズ**、ユーザー設定サイズ R、フリー	P.7-13
両面印刷 *	**しない**、する	P.7-13

ユーティリティーメニューの設定項目

ユーティリティーメニューでは、プリンター内部の状態や、搭載されているフォントなどの情報を印刷することができます。

メモ 共通ステータスプリント、ネットワークステータスプリント、印字位置調整プリントの出力サンプルについては、「動作モード共通のリスト」（→P.8-17）を参照してください。LIPS のステータスプリントとフォントリスト、ESC/P のステータスプリントの出力サンプルについては、「動作モード専用のリスト」（→P.8-19）を参照してください。

共通ステータスプリント

–

搭載しているメモリー（RAM）の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などが印刷されます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

ネットワークステータスプリント

–

本プリンターに内蔵されているプリントサーバーのバージョン、設定内容などが印刷されます。

メモ ネットワークステータスプリントは、 A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

LIPS ユーティリティー（LIPS 専用ユーティリティー）

ステータスプリント、フォントリスト、オーバーレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバーレイプリント

LIPS モードでのプリンターの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

LIPS 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「フォントリスト」

LIPS モードで使用できるフォントの一覧が印刷されます。

「オーバーレイリスト」

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズなどを一覧にして印刷します。登録されているフォーマットデータがない場合は、何も印刷されません。

「マクロリスト」

マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズを一覧にして印刷します。登録されているマクロがない場合は、何も印刷されません。

「フォームリスト」

フォーム領域に登録されているフォームの名称とサイズを一覧にして印刷します。登録されているフォームデータがない場合は、何も印刷されません。

「オーバーレイプリント」

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS 専用セットアップメニューのオーバーレイ 1、2 に設定されている番号のオーバーレイの内容が印刷されます。オーバーレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容が印刷されます。設定されていない場合は何も印刷されません。



各リストは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

ESC/P ユーティリティー（ESC/P 専用ユーティリティー）

ステータスプリント、オーバーレイプリント *

* 「オーバーレイプリント」は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

ESC/P エミュレーションモードでのプリンターの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

ESC/P 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「オーバーレイプリント」

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、ESC/P 専用セットアップメニューのオーバーレイ 1、2 に設定されている番号のオーバーレイの内容が印刷されます。オーバーレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容が印刷されます。設定されていない場合は何も印刷されません。



各リストは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

N201 ユーティリティー（N201 専用ユーティリティー）

ステータスプリント、オーバーレイプリント

* 本項目は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

N201 エミュレーションモードでのプリンターの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

N201 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「オーバーレイプリント」

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、N201 専用セットアップメニューのユーザーオーバーレイ 1、2 に設定されている番号のオーバーレイの内容が印刷されます。ユーザーオーバーレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容が印刷されます。設定されていない場合は何も印刷されません。



各リストは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

I5577 ユーティリティー（I5577 専用ユーティリティー）

ステータスプリント、オーバーレイプリント

* 本項目は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

I5577 エミュレーションモードでのプリンターの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

I5577 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「オーバーレイプリント」

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、I5577 専用セットアップメニューのユーザーオーバーレイ 1、2 に設定されている番号のオーバーレイの内容が印刷されます。ユーザーオーバーレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容が印刷されます。設定されていない場合は何も印刷されません。



各リストは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

HP-GLユーティリティー（HP-GL専用ユーティリティー）

ステータスプリント、サンプルプリント

* 本項目は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

HP-GL エミュレーションモードでのプリンターの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

HP-GL 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「サンプルプリント」

HP-GL エミュレーションモードのいろいろな機能を使用したサンプルデータが印刷されます。



ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイにA4 サイズの用紙をセットしてください。

HP-GL/2ユーティリティー（HP-GL/2専用ユーティリティー）

ステータスプリント、サンプルプリント

HP-GL/2 エミュレーションモードでのプリンターの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

HP-GL/2 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「サンプルプリント」

HP-GL/2 エミュレーションモードのいろいろな機能を使用したサンプルデータが印刷されます。



ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイにA4 サイズの用紙をセットしてください。

クリーニング

A4、LTR

クリーニング用紙を印刷して、定着ローラーのクリーニングを行います。

クリーニングを実行すると、ディスプレーに「クリーニングパターンを印刷するための用紙をセットしてください。」と表示されますので、手差しトレイに A4 またはレターサイズの用紙を横置きにセットし、［オンライン］を押します。

クリーニング用紙が印刷されますので、クリーニング用紙の印刷面を下にして手差しトレイにセットし、［オンライン］を押します。セットしたクリーニング用紙が給紙され、クリーニングが行われます。



定着ローラーのクリーニング操作については、ユーザーズガイド「第 5 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

拡張カードリスト

－

プリンターの拡張ボードスロットに装着した拡張インターフェイスボードのバージョン、設定内容などが印刷されます。

印字位置調整プリント

－

「印字位置調整」（→P.3-41）で設定した印字位置が印刷されます。印刷結果で「印字位置調整」の設定を確認することができます。



印字位置調整の操作については、ユーザーズガイド「第 5 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

総印刷ページ数

－

現在までに印刷したトータル枚数を表示します。

消耗品確認

給紙情報、トナー型番、トナー残量

「給紙情報」

手差しトレイや給紙カセットごとに、用紙サイズや用紙残量のあり / なしを表示します。

「トナー型番」

トナーカートリッジの型番を表示します。

「トナー残量」

トナーカートリッジのトナー残量を表示します。トナーカートリッジ交換の目安として確認することができます。

ジョブメニューの設定項目

ジョブメニューでは、各種の履歴を印刷することができます。

ジョブ印刷履歴リスト

–

コンピューターから印刷したジョブの履歴を印刷します。

ジョブ印刷履歴リストには、ファイル名や印刷日時などが印刷されます。



- ジョブの履歴がない場合は、何も印刷されません。
- ジョブ印刷履歴リストには、最大48ジョブの履歴が印刷されます。

レポート印刷履歴リスト

–

印刷したステータスプリントやネットワークステータスプリントなどの履歴を印刷します。

レポート印刷履歴リストには、印刷日時などが印刷されます。



- ジョブの履歴がない場合は、何も印刷されません。
- レポート印刷履歴リストには、最大16ジョブの履歴が印刷されます。

リセットメニューの設定項目

リセットメニューでは、プリンターのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンターに残っている印刷データを排出することができます。

ソフトリセット／ハードリセット

–

トラブルが発生したときや、印刷を中止したいときのプリンターのリセットを行います。

「ソフトリセット」

ソフトリセットを行うと、次の処理を行います。

- 現在実行中の処理を中止
- プリンターメモリー内のジョブ、処理中のジョブ、受信した印刷データを消去

ソフトリセットを行うには、次の操作を行います。

1. ［リセット］を押す
2. ［▲］で「ソフトリセット」を選択し、［OK］を押す
3. ［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押す

「ハードリセット」

ハードリセットを行うと、次の処理を行います。

- 現在実行中の処理を中止
- プリンターメモリー内のジョブ、処理中のジョブ、受信した印刷データ、フォームデータなどの登録ファイルを消去

ハードリセットを行うには、次の操作を行います。

1. ［リセット］を押す
2. ［▲］で「ソフトリセット」を選択する
3. ［OK］を 5 秒以上押して、指を離す
4. ［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押す

重要

- ソフトリセットを行うには、必ずコンピューター側で印刷中止の操作を行ってからにしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインターフェイスで受信中のデータは消去されますので、再度コンピューターから印刷しなおしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、他のインターフェイスのデータでも、すでにメモリーに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のコンピューターからのデータに影響しないようにリセットを行ってください。

メモ

ハードリセットを行うと、プリンターの RAM に保存されているフォームデータなどの登録ファイルはすべて消去されますが、ソフトリセットでは消去されません。

排出

ー

コンピューター側で印刷を中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンターのメモリーに印刷データが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次の印刷ができません。このようなときは、本項目の操作を行って強制的に印刷データを排出してください。

重要

- LIPS/LIPS LXプリンタードライバーからの印刷データは排出できません。
- データを排出したときは、印刷中のデータは消されますので、再度コンピューターから印刷しなおしてください。

メモ

- 印刷データがプリンターのメモリーに残ったまま、または印刷データがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブのタイムアウトが設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1 ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブのタイムアウトは15秒に設定されています。
- 排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→P.7-10）

シャットダウン

ー

本プリンターの機能を終了させます。

WSD 印刷を使用しているときは、シャットダウンを行うことで、プリンターの電源が切れたことをコンピューターに通知します。

シャットダウンが実行されたあと、データ受信もパネル操作も行えない状態になります。再度印刷する場合は、電源を入れなおしてください。

給紙選択メニューの設定項目

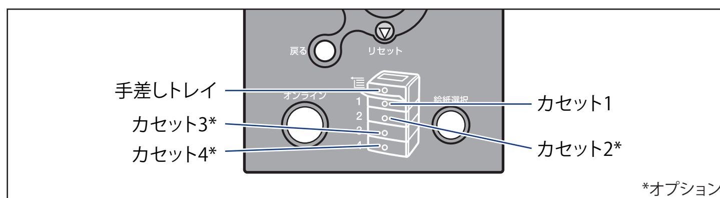
給紙選択メニューでは、どの給紙元から給紙するかや、手差しトレイにセットする用紙サイズを設定することができます。

給紙モード

自動、カセット 1、カセット 2*、カセット 3*、カセット 4*、手差しトレイ

* 「カセット2」、「カセット3」「カセット4」は、オプションのペーパーフィーダーが装着されている場合にのみ表示されます。

給紙するカセットやトレイなどを選択します。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。



メモ

- 「自動」に設定した場合、自動給紙の対象となる給紙元を設定することができます。
- 自動給紙選択で、2つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプに関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。
- 「用紙不一致時トレイ」（→P.3-20）が「使う」に設定されている場合は、本項目の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 手差しトレイから給紙する場合は、セットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時の設定は、「A4」に設定されています。

手差しトレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザー設定サイズ、ユーザー設定サイズ R、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、封筒 洋形長 3 号、A5、B5

手差しトレイにセットした用紙サイズを設定します。

共通セットアップメニューの給紙グループの「手差しトレイ用紙サイズ」（→P.3-17）でも同様の設定ができます。設定内容については、「手差しトレイ用紙サイズ」（→P.3-17）を参照してください。

カセット N（N=1、2、3、4）用紙サイズ

ユーザー設定サイズ、ユーザー設定サイズ R、フリー

* 「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」は、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

給紙カセット（カセット 1、2、3、4）にセットした用紙サイズを設定します。

共通セットアップメニューの給紙グループの「カセット N（N=1、2、3、4）用紙サイズ」（→P.3-19）でも同様の設定ができます。設定内容については、「カセット N（N=1、2、3、4）用紙サイズ」（→P.3-19）を参照してください。

両面印刷

しない、する

* 本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。

共通セットアップメニューの給紙グループの「両面印刷」（→P.3-22）でも同様の設定ができます。設定内容については、「両面印刷」（→P.3-22）を参照してください。

8 CHAPTER

付録

この章では、LIPS、ESC/P の各モードの参考情報や各種リストの内容などについて説明しています。

文字セットコード表とコントロールコマンドリストについて

文字セットコード表

本プリンター内蔵フォントのコード表（LIPS、ESC/P）が、本プリンター付属の CD-ROM の［FONTLIST］フォルダーに収められています。詳しくは、［FONTLIST］フォルダー内の Readme ファイルを参照してください。

コントロールコマンドリスト

本プリンターが標準で対応している 2 つのコントロールコマンド（LIPS、ESC/P エミュレーション）の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンター付属の CD-ROM の［COMLIST］フォルダーに収められています。LIPS コントロールコマンドは［LIPSCONT.TXT］というファイル名で、ESC/P エミュレーションコントロールコマンドは［ESCPCONT.TXT］というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。



LIPS コントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

内蔵フォント ID について

本プリンターに内蔵されているフォントの ID 番号は以下の通りです。

フォント名称	フォントID	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

LIPS 内蔵フォント

■ **文字セットの属性について**

各文字セットは、次のような属性があります。

- 書体
  書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンター」「ガーランド」など多数の種類があります。
- グラフィックセット
  あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。
- 文字ピッチ
  文字を印刷する間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチで印刷されます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。
- サイズ
  文字の大きさをポイント数で示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約0.35mm（1/72インチ）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。
- スタイル
  スタイルには「直立体（Upright）」と「イタリック体（Italic）」があります。
- 太さ
  文字の太さには「標準（Medium）」「ボールド（Bold）」「ライト（Light）」があります。

■ LIPS II⁺内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンター	ALP10.XXX	ROMA N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15.XXX	N_JPN KATA	15.00	7.20		
	ALP1125.XXX		11.25	9.60		
明朝体	A1224M.XXX	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M.XXX	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040M.XXX	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M.XXX	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216M.XXX	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020M.XXX		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G.XXX	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G.XXX	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040G.XXX	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G.XXX	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216G.XXX	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020G.XXX		6.00	6.00		
Garland	Garland10.XXX	ROMA N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12.XXX	N/USA N/GER	12.00			
	Garland17.XXX	N/SWD N/JPN	17.15			
	GarlandPS11.XXX	N/UK N_UK	プロポーショナル			
		N_USA N_SWD				
		N_JPN N_GER				
		N_KATA N_HIRA				
		N_GRF				

2 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M.XXX	J78 J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M.XXX		7.50	9.60		
	K40M.XXX		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G.XXX		10.00	7.20		
	K32G.XXX		7.50	9.60		
	K40G.XXX		6.00	12.00		

■ LIPS III／IV内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「* ①～⑥」については、次ページの表を参照してください。

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10.XXX	*①②③④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10I.XXX				イタリック体	
	Ncourier10B.XXX				直立体	ボールド
	Ncourier15.XXX	*①②③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17.XXX	*④	16.66	8.16		
	Ncourier20.XXX	*①②③	20.00	7.20		
		*④	13.60	8.16		

1 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ラインプリンター	LinePrinter-Bold.XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier.XXX	*①②③⑤⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold.XXX					ボールド
	Ncourier-Italic.XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic.XXX					ボールド
Swiss	Swiss.XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold.XXX					ボールド
	Swiss-Oblique.XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman.XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold.XXX					ボールド
	Dutch-Italic.XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic.XXX					ボールド
Symbol	Symbol.XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準



1バイトビットマップフォント表と1バイトスケーラブルフォント表の「* ①〜⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

①	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
②	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
③	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
④	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
⑤	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBM819 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBM1004 IBML IBML2 Win31L Win31R TURKISH
⑥	PSR PSL

2バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

ESC/P エミュレーションのページフォーマット

ESC/P エミュレーションモードで印刷するときのページフォーマットは、以下のとおりです。

メモ
- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンター側の用紙サイズも変更します。ESC/P設定メニューの「用紙サイズ」（→P.5-9）で設定します。
- 「実寸縦」、「実寸横」でESC/P専用セットアップメニューの「用紙サイズ」を「A3」に設定している場合、および「10インチ→A4縦」、「15インチ→A4横」、「15インチ→B4横」、「B4→A4縦」、「B4→A4横」では、用紙の余白を有効に使って印刷できるワイド領域モードが使えます。
- 10インチ×11インチの連続用紙の1ページあたりのサイズは、254mm×279.4mmです。15インチ×11インチの連続用紙の1ページあたりのサイズは、381mm×279.4mmです。

■ ESC/Pエミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸縦	実寸横
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンター：縦置き ABCDE 本プリンター：縦置き ABCDE、横置き ABCDE ESC/P準拠プリンターにカット紙を縦置きにセットして印刷するときのフォーマット。ESC/P準拠プリンターと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトで印刷します。	ESC/P準拠プリンター：横置き ABCDE 本プリンター：縦置き ABCDE、横置き ABCDE ESC/P準拠プリンターにカット紙を横置きにセットして印刷するときのフォーマット。ESC/P準拠プリンターと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープで印刷します。
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズ。A3サイズに印刷するときにワイド領域モードを設定できます。	「実寸縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	「実寸縦」と同じです。
イメージの印字	プリンターの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンターとは印字結果が若干異なります。	「実寸縦」と同じです。
印字領域	A4サイズ 22mm 5mm　5mm 8mm 印字領域	A4サイズ 22mm 5mm　5mm 8mm 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置です。	「実寸縦」と同じです。
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6インチ）またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）	「実寸縦」と同じです。
ボトム位置	ESC/P準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。	「実寸縦」と同じです。

B4→A4縦		B4→A4横	
カット紙の場合のページフォーマット			
ESC/P準拠プリンター	本プリンター	ESC/P準拠プリンター	本プリンター
縦置き ABCDE B4	縦置き ABCDE A4 / 横置き ABCDE A4	横置き ABCDE B4	縦置き ABCDE A4 / 横置き ABCDE A4
ESC/P準拠プリンターにB4サイズのカット紙を縦置きにセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレイトで印刷します。		ESC/P準拠プリンターにB4サイズのカット紙を横置きにセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープで印刷します。	
A3、B4、A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）。 A3、B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小され印刷します。		「B4→A4縦」と同じです。	
初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。		「B4→A4縦」と同じです。	
プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。		「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード（A4サイズの場合） 22mm 14mm 14mm 11mm ワイド領域モード（A3サイズの場合） 5mm 34mm 5mm 6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域		標準領域モード（A4サイズの場合） 20mm 25mm 18mm 19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合） 5mm 9mm 5mm 5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	
標準領域モード：（TOF行）の左マージン位置です。		「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6インチ）です。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません） **ワイド領域モード：**印字領域は本プリンターの有効印字領域とほぼ同じです。		「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：ESC/P準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード：**有効印字領域の下端とほぼ同じ位置です。		「B4→A4縦」と同じです。	

設定値名	10インチ→A4縦	15インチ→A4横
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンター：10インチ×11インチ 本プリンター：縦置き　横置き ABCDE　10インチ×11インチ　A4 ESC/P準拠プリンターに10インチ×11インチの連続用紙をセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトで印刷します。	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンター：15インチ×11インチ 本プリンター：縦置き　横置き ABCDE　15インチ×11インチ　A4 ESC/P準拠プリンターに15インチ×11インチの連続用紙をセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印刷します。
用紙サイズ	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。	初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。
イメージの印字	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：12mm、12mm、6mm、5mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：5mm、9mm、5mm、6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：15mm、9mm、18mm、19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：5mm、8mm、5mm、5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
第一文字目の印字位置	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
右マージン	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
ボトム位置	**標準領域モード：**初期状態の印字開始位置から279.4mm（11インチ）（実際の用紙上では271.8mm{10.7インチ}）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード：**有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	**標準領域モード：**初期状態の印字開始位置から279.4mm（11インチ）（実際の用紙上では210.8mm{8.3インチ}）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード：**有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

15インチ→B4横	
連続用紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンター	本プリンター
15インチ×11インチ ABCDE 15インチ×11インチ	縦置き ABCDE B4
ESC/P準拠プリンターに15インチ×11インチの連続用紙をセットして印刷するときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印刷します。	
A3、A4サイズ（B4より小さい用紙への印刷は保証しません。） A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリントします。	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。	
「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード（B4サイズの場合） 8mm 8mm 9mm 9mm ワイド領域モード（A3サイズの場合） 5mm 8mm 5mm 6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	
「B4→A4縦」と同じです。	
「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11インチ）（実際の用紙上では266.7mm｛10.5インチ｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード：**有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	

■ ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	112	97	78	67	54	35
	行　数	92	78	63	54	42	28
実寸横	文字数	136	136	112	97	78	54
	行　数	63	52	42	36	28	16
10インチ→A4縦	文字数	80	80	80	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15インチ→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15インチ→B4横	文字数	136	136	×	×	×	×
	行　数	66	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	97	97	97	×	×	×
	行　数	78	78	82	×	×	×
B4→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

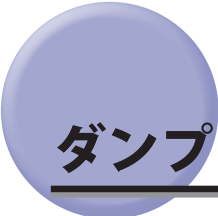
ワイド領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	112	−	−	−	−	−
	行　数	95	−	−	−	−	−
実寸横	文字数	161	−	−	−	−	−
	行　数	66	−	−	−	−	−
10インチ→A4縦	文字数	115	99	80	×	×	×
	行　数	98	84	68	×	×	×
15インチ→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	99	85	68	×	×	×
15インチ→B4横	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	150	129	104	×	×	×
	行　数	127	109	88	×	×	×
B4→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。



ダンプリスト

■ ヘキサダンプリスト

動作モード選択で「HEX-DUMP」を選択すると、コンピューターから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードで印刷します。

1 行に 32 バイトの 16 進コードを印字します。16 進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4 サイズポートレイトでのみ印刷できます。

（操作方法：「動作モードグループの設定項目」→P.3-45）

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8,V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....%...........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

8
付録

■ LIPSダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、コンピューターから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷します。

現在選択されている給紙元の用紙サイズで印刷します。

（操作方法：「動作モードグループの設定項目」→P.3-45）

```
                         Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18                    Page :  1

00000 |ec c| |ec P 4 1 ; 6 0 0 J ec ¥| |ec <| |ec [ 1 1 h| |ec [ ? 6 ␣ I| |ec [ 3 0 0 0 ; 1 . r| 72 65 67 72 65 67

00042 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65

          * * *  s k i p  2960 Byte  * * *

03016 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 |ec [ 0 ; 1 x| |ec [ {| |ec [ 0 ; 4 x| |ec [ }| |ec [ 0

03057 |; 0 x| |ec [ 5 0 0 ; 5 0 0 f| F I L E ␣ N A M E ␣ - - - > ␣ H E I G H T . 0 0 4 ␣ ␣ T . K A W A I

03104 |ec P z M i n c h o - M e d i u m . J 7 8 ec ¥| |ec [ ? 3 5 0 ␣ K| |ec [ 1 0 0 0 ␣ C| |ec [ 3 0 0 0 ; 4

03150 |5 0 0 f| ! v ! v ! v ! ! J 8 ; z 9 b ; X D j L ? N a ! ! ! v ! v ! v |ec [ ? 8 5 0 ␣ K| |ec [ 3 5 0

03197 |␣ C| |ec [ 5 0 0 0 ; 1 5 0 0 f| |ec [ 4 m| ! v J 8 ; z 9 b ; X D j L ? N a $ G ; X D j $ 7 $ ? |ec [

03243 |7 m| B g $ - $ 5 $ N J 8 ; z $ K $ J $ k $ + |ec [ 2 7 m| ! J # 2 % P % $ % H ! & % 9 % 1 ! < % i %

03291 V % k ! & % U % ) % s % H ! K |ec [ 2 4 m| |ec [ 2 7 5 0 0 ; 1 2 0 0 0 f| |ec [ 5 m| # C # 0 # M # M
```

- 枠囲みパターンについて

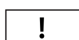
コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位に枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

- 改行・改ページを示す記号



lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、または ff（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。（例： lf | ）

- 異常終了を知らせる記号



命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16 進コードのダウンロードで 16 進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

```
                    !
00000    |ec [ |  |ec [  5  m|  A B C D
```

8 付録

■ LIPSダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

● ベクタモードのLIPSダンプリスト
- 命令は全角文字で印字されます
- パラメータは10進コードで、文字パターンは16進コードでそれぞれ印字されます。
- パラメータが2つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。



- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード20h（16進コード）は「␣」、文字コードA0h（16進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
【例】　改ページ→ff　　FFh（16 進コード）→FF

動作モード共通のリスト

動作モード共通のリストについて説明しています。

重要 ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンターで出力したリストとは一部内容が異なる場合があります。

共通ステータスプリント

搭載している RAM の容量や印刷環境の設定内容などが印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティー］を押してユーティリティーメニューを表示します。
3. ［▲］、［▼］を押して「共通ステータスプリント」を選択し、［OK］を押します。
4. 「実行しますか？」の画面で、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押して印刷します。

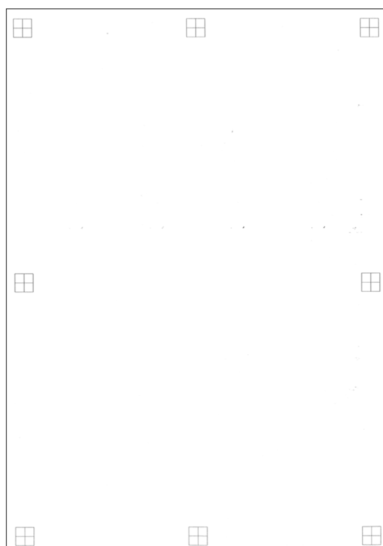
ネットワークステータスプリント

本プリンターに内蔵されているプリントサーバーのバージョンや設定内容などが印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティー］を押してユーティリティーメニューを表示します。
3. ［▲］、［▼］を押して「ネットワークステータスプリント」を選択し、［OK］を押します。
4. 「実行しますか？」の画面で、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押して印刷します。

印字位置調整プリント

各給紙元の現在の印字位置が印刷されます。印刷結果で印字位置の調整を行います。詳しくは、ユーザーズガイド「第 5 章 日常のメンテナンス」を参照してください。



1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［給紙選択］を押します。
3. ［▲］、［▼］で「給紙モード」を選択し、［OK］を押します。
4. ［▲］、［▼］で印字位置を確認したい給紙元を選択し、［OK］を押します。
5. ［オンライン］を押してオンライン状態にします。
6. ［ユーティリティー］を押してユーティリティーメニューを表示します。
7. ［▲］、［▼］を押して「印字位置調整プリント」を選択し、［OK］を押します。
8. 「実行しますか？」の画面で、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押して印刷します。

動作モード専用のリスト

動作モード専用のリストについて説明しています。

重要 ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンターで出力したリストとは一部内容が異なる場合があります。

LIPS ステータスプリント

LIPS 専用セットアップメニューの設定内容が印刷されます。

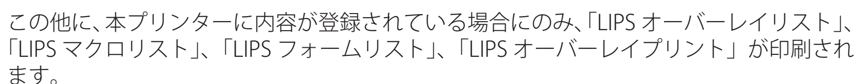
1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティー］を押してユーティリティーメニューを表示します。
3. ［▲］、［▼］を押して「LIPS ユーティリティー」を選択し、［OK］を押します。
4. ［▲］、［▼］を押して「ステータスプリント」を選択し、［OK］を押します。
5. 「実行しますか？」の画面で、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押して印刷します。



LIPS フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントの一覧が印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティー］を押してユーティリティーメニューを表示します。
3. ［▲］、［▼］を押して「LIPS ユーティリティー」を選択し、［OK］を押します。
4. ［▲］、［▼］を押して「フォントリスト」を選択し、［OK］を押します。
5. 「実行しますか？」の画面で、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押して印刷します。



メモ

この他に、本プリンターに内容が登録されている場合にのみ、「LIPS オーバーレイリスト」、「LIPS マクロリスト」、「LIPS フォームリスト」、「LIPS オーバーレイプリント」が印刷されます。

ESC/P ステータスプリント

ESC/P 専用セットアップメニューの設定内容が印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティー］を押してユーティリティーメニューを表示します。
3. ［▲］、［▼］を押して「ESC/P ユーティリティー」を選択し、［OK］を押します。
4. ［▲］、［▼］を押して「ステータスプリント」を選択し、［OK］を押します。
5. 「実行しますか？」の画面で、［▼］で「はい」を選択し、［OK］を押して印刷します。

ＥＳＣ／Ｐ　ステータスプリント　Ver.01.01

メニュー項目

項目		登録状態
ページレイアウト	ページフォーマット	実寸縦
	上余白	０
	用紙位置微調整	０
	領　域	標準
	右マージン既定値	１３６桁
	用紙サイズ	Ａ４
	２ページ印刷指定	しない
フォント	漢字書体	明朝
	フォントＩＤ	２
	漢字サイズ	システム
	文字コード	カタカナ
	国別文字	日本
印字機能	イメージの補正	しない
	縮小文字印刷	しない
印字動作	改行機能	ＬＦコマンドを待つ
ＶＦＣ	連続用紙長	システム
	単票用紙長	システム
	ミシン目スキップ	しない
その他	登録レベル	一時

ＥＳＣ／Ｐは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

8 付録

本プリンターについての注意事項

本プリンターは従来のレーザーショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作のしかたや印刷の結果が異なることがあります。以下に、本プリンターと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来 LIPS III シリーズとの違いについて

従来 LIPS III シリーズとは、LBP-A309GII、A304GII、A304EII、A304E、310、320、320PRO、350、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S、B406D、A404F、A404GII、A404E、A404、A405Jr です。

■ フォント

- 本プリンター内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。
- 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990で追加された2文字（コード7425および7426）を追加しました。
- クーリエのスケーラブルフォントや従来のJBM1フォントカード相当など、追加されたフォントがあるためLIPSモードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントで印刷されることがあります。

■ データ処理解像度

- 従来のシリーズでは300dpi／240dpiで入力データを処理していましたが、本プリンターでは600dpiで処理をしています。このため、印刷結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS／エミュレーション各モードでの主な注意点は以降の各モードの注意点をご参照ください。

■ 描画処理の違い

- 図形や文字の印刷の描画処理が効率化・統合化等のために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かな印刷結果やスピードに違いが出ることがあります。

■ メニュー操作

- 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源オフをしても引き継がれます。
- 本プリンターでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしておりLIPSでもエミュレーションでもひとつの印刷単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」がタイムアウトやジョブ終了コマンドで終了すると印刷環境などが初期化されます。

■ インターフェイス関連

- 従来のシリーズではME-CARD以外のエミュレーションではインターフェイスを切り替えることができませんでしたが、本プリンターではすべてのエミュレーションでインターフェイスを使用して切り替えることができます。
- 自動インターフェイス切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインターフェイスからのデータを同時に受信します。

■ メモリー

- 従来のシリーズとはメモリー管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリー容量が異なります。

■ オプションのメモリーやフォントなど

- 従来シリーズの拡張RAMボード、コントロールROMは使用できません。本プリンター専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

■ LIPS IIIモード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンターではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンターでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、印刷時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点
  - ファインモードでは600dpiでデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m四方から半分の約2.8m四方になります。
  - 600dpiで印刷されるため、罫線等の太りかたやパターン等に微妙な違いが出ることがあります。

■ LIPS IIモード

- 従来シリーズではLIPS IIモードは240dpiで処理されていましたが、本プリンターでは600dpiで処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - 塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - 書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによる印刷結果の違いやスピードの違いがあります。
  - イメージデータ（写真画像など）や文字登録データなど240dpiのドットパターンは600dpiに自動的に変換されるため、印刷結果の見た目が異なります。
  - 従来240dpiで印字位置を処理していたのに対し、600dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
  - ベクタモードの座標範囲はLIPS IIIのファインモードでの注意点を参照してください。

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンターではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときに印刷結果が異なることがあります。

■ **内蔵エミュレーション**

- 従来シリーズでは内蔵エミュレーションは240dpiで処理されていましたが、本プリンターでは600dpiで処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - 塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - 書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによる印刷結果の違いやスピードの違いがあります。
  - イメージデータ（写真画像など）や文字登録データなどのドットパターンは600dpiに自動的に変換されるため、印刷結果の見た目が異なります。また、イメージの補正処理の選択はできません。
  - 本プリンターでは印字位置を600dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
- 従来シリーズのPCA-AX/3に搭載されていたキヤノン独自の拡張機能には対応していません。ただし、オプションのコントロールROMを装着することで、対応可能になります。
- ジョブタイムアウトやメニュー操作によりエミュレーションのプリンター設定は初期化されます。
- 描画処理の違いにより修飾文字を重ねたときの見た目が異なる場合があります。

従来 LIPS IV シリーズとの違いについて

※従来 LIPS IV シリーズとは、LBP-730、720、830、450、430、740、750、930 などです。

- 従来のシリーズとはメモリー管理の方法が異なっており、印字データや登録データで使用可能なメモリー容量が異なります。
- オプションのコントロールROMをご利用になる場合、必ず本プリンターに対応のものをお使いください。従来LIPS IVシリーズにのみ対応しているオプションのコントロールROMは、本プリンターでは使えません。

LIPS IVc 搭載のカラー BJ との違い

- LIPS IVはLIPS IVcを包含したコマンド体系ですが、ハード的な違いなど以下のような注意点があります。
  - カラーBJはLIPS IVcのコマンドを360dpiで処理しますが、本プリンターは600dpiで処理するため印刷結果の見た目が異なることがあります。
  - カラーBJとは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。
  - 本プリンターはモノクロのプリンターなので、冗長な色情報が含まれているカラー印刷用のデータは効率的ではありません。一般的にカラー印刷とモノクロ印刷を指定できる場合は、モノクロ印刷を選択することをおすすめします。また、本プリンター専用ドライバーが選択できる場合はそちらを選択してください。

本プリンターの制限事項

- LIPSメニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II^{+}モード用ユーザー登録文字セットおよびビットマップフォントGarland PS11／ALP10／ALP15／ALP1125は印字されないことがあります。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- テキストモードで縦書きに文字を印字する場合、2バイト和文プロポーショナルフォント（Mincho-Medium-PS.XXX、Gothic-Medium-PS.XXX）は使用できません。文字ピッチが固定しているフォントをお使いください。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリー容量は、プリンターの機種により異なります。
- 本プリンターでは、印字品質保持のための濃度調節や温度調節、あるいはエンジン状態監視のために、一時的に印刷が中断されることがあります。

ESC/P 準拠プリンターとの違い

ESC/P エミュレーションモードでは、ESC/P 対応アプリケーションソフトによる印刷ができますが、ESC/P 準拠プリンターとは異なる点があります。印刷にあたっては以下の点にご注意ください。

8

付録

■ 解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンターの解像度 180dpi に対し、本プリンターは解像度 600dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、印刷結果がESC/P 準拠プリンターと異なることがあります。

- イメージデータ
  解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
  とくに「15インチ→B4横」では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。
- 登録文字
  24×24ドット構成の外字は、8ポイント相当、32×32ドット構成の外字は10ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。
- 印字間隔等
  解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。
- 右マージン
  文字が右マージンをわずか（1ドット未満）でも超える場合は、改行します。

■ 文字パターンの違いについて

- 文字サイズ
  「実寸縦」、「実寸横」、「10インチ→A4縦」、「15インチ→B4横」では10ポイント、「15インチ→A4横」、「B4→A4縦」、「B4→A4横」では8ポイントの文字が印字されるため、ESC/P準拠プリンターより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。
- フォントデザイン
  ESC/P準拠プリンターとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形やANK/漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。
- 2バイトコードの未定義領域
  2バイトコードの中で、ESC/Pでは未定義の領域に本プリンター専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンター特有のパターンが印字されます。

■ その他の制限

- 登録文字数とメモリーオーバー
  文字の登録を行っているとき等にメモリーが不足すると、「ダウンロードメモリが足りません。」のメッセージが表示されます。
  登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリーを増やして再度印刷してください。
  - ハードリセットをするか、プリンターの電源を入れなおす
  - オプションの拡張RAMの増設
- 白紙の排出
  ESC/Pエミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。
- ESC/Pスーパー
  ESC/Pエミュレーションモードは ESC/P24-J84仕様にのみ対応しているため、ESC/Pスーパーのプリンター設定では正しく印刷されません。

索引

数字

アルファベット

A

B

C

E

H

I

L

M

N

P

S

T

V

かな

あ

い

8
付録

こ

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

な

ね

は

ひ

ふ

へ

み

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタードライバーなどのソフトウェアは、今後、機能アップなどのバージョンアップが行われることがあります。

バージョンアップ情報やソフトウェアは、次の方法で入手できます。

 インターネットをご利用の際の通信料やプロバイダ料などはお客様のご負担になります。ご了承ください。

情報の入手方法

バージョンアップ情報の他、新製品のご紹介やイベント情報などを確認できます。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

トップページで［製品情報］、［サポート］、［イベント］などをクリックしてください。

ソフトウェアの入手方法

プリンタードライバーなどの最新ソフトウェアを入手できます。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

トップページで［ダウンロード］をクリックしてください。

メニュールートマップ

ジョブ確認/中止キー

現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

ユーティリティーメニュー

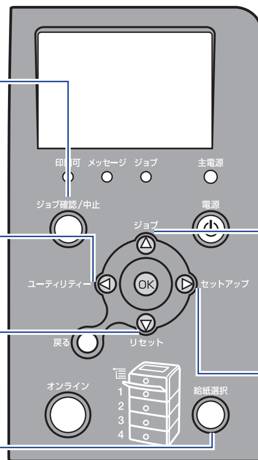
プリンターの現在の設定内容などの内部情報を印刷します。

リセットメニュー

プリンターのリセット操作や印刷データの排出、シャットダウン操作を行います。

給紙選択メニュー

給紙カセットと手差しトレイのどちらから印刷するのかや、用紙のサイズを設定します。



ジョブメニュー

ジョブの操作、各種の履歴リストを印刷します。

セットアップメニュー

レイアウトの調整や、拡大／縮小など、印刷するときの環境を設定します。

「グループ」の階層をあらわしています。

拡張機能

- スリープモード
  - 使わない
  - パネルオフ
  - 使う
  - ディープスリープ

「設定項目」の階層をあらわしています。

「設定値」の階層をあらわしています。背景がグレーの設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

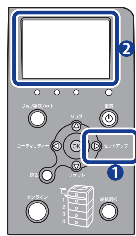
- ルートマップ中の「⋮」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「＊」印の設定項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの ◀▶▲▼[OK]、[戻る]の6つのキーを使って操作します。
  ◀:前の階層に戻る。
  ▶:次の階層に進む。
  ▲:上の項目を選択する。
  ▼:下の項目を選択する。
  [OK]:次の階層に進む。または項目を決定する。
  [戻る]:前の階層に戻る。

セットアップメニュー

<表示方法>

1. [セットアップ]を押す
2. セットアップメニューが表示される

※セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザーメンテナンス」グループの設定はできません。



拡張機能

- スリープモード
  - 使わない
  - パネルオフ
  - 使う
  - ディープスリープ
- エラースリープ
  - しない
  - する
- スリープモード移行時間
  - 1分
  - 5分
  - 15分
  - 30分
  - 60分
  - 180分
- タイマー設定
  - ウェイクアップタイマー
    - 使わない
    - 使う
  - ウェイクアップ時刻
    - 00:00～12:00～23:59
  - スリープタイマー
    - 使わない
    - 使う
  - スリープ時刻
    - 00:00～12:00～23:59
  - ディープスリープタイマー
    - 使わない
    - 使う
  - ディープスリープ時刻
    - 00:00～12:00～23:59
- 警告処理
  - トナー交換予告
    - 継続
    - 停止
- 自動エラースキップ
  - しない
  - する
- 表示言語
  - English
  - 日本語
- ブザー
  - オフ
  - 1回
  - 連続
- 警告表示
  - トナー交換予告
    - しない
    - する
  - カセット用紙なし
    - しない
    - する

右の列に続く

左の列から続く

- 日付／時刻設定
  - 日付
    - 2001/01/01 ～ 2089/12/31
  - 時刻
    - 00:00:00 ～ 23:59:59
- PDL選択（PnP）
  - LIPS LX
  - LIPS4
- 管理設定
  - セットアップキーのロック
    - しない
    - する
- 画面調整
  - 画面コントラスト
    - -3
    - ⋮
    - 0
    - ⋮
    - +3
  - バックライトの明るさ
    - オフ
    - レベル1
    - レベル2
    - レベル3
- アニメーション表示
  - しない
  - する
- トナー残量アイコン表示
  - しない
  - する
- 設定完了通知
  - しない
  - 1秒
  - 2秒
  - 3秒

給紙

- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A5
  - B5
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - レター
  - レターR
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
  - はがき
  - 往復はがき
  - 4面はがき
  - 封筒 角形2号
  - 封筒 長形3号
  - 封筒 洋形長3号
- 手差しトレイ優先
  - しない
  - する

右の列に続く

左の列から続く

- カセット1用紙サイズ
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- カセット2用紙サイズ*
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- カセット3用紙サイズ*
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- カセット4用紙サイズ*
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- デフォルト用紙サイズ
  - A5
  - B5
  - A4
  - B4
  - A3
  - レター
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - はがき
  - 往復はがき
  - 4面はがき
  - 封筒 角形2号
  - 封筒 長形3号
  - 封筒 洋形長3号
- 用紙不一致時トレイ
  - 使わない
  - 使う
- 自動選択
  - 手差しトレイ
    - 使わない
    - 使う
  - カセット1
    - 使わない
    - 使う
  - カセット2*
    - 使わない
    - 使う
  - カセット3*
    - 使わない
    - 使う
  - カセット4*
    - 使わない
    - 使う
- デフォルト用紙種類
  - 普通紙
  - 普通紙L
  - 普通紙H
  - 厚紙L
  - 厚紙H
  - OHPフィルム
  - はがき
  - 封筒
  - ラベル用紙

次のページに続く

前のページから続く

- 両面印刷*: しない / する

標準ネットワーク*

- TCP/IP設定
  - IPv4設定
    - IPモード: 自動 / 手動
    - プロトコル*
      - DHCPによるアドレス設定: オフ / オン
      - BOOTPによるアドレス設定: オフ / オン
      - RARPによるアドレス設定: オフ / オン
    - IPアドレス設定
      - IPアドレス: 0.0.0.0
      - サブネットマスク: 0.0.0.0
      - ゲートウェイアドレス: 0.0.0.0
    - IPアドレス範囲設定
      - 受信／印刷拒否: しない / する
      - 拒否アドレス設定*: 拒否IP アドレス1 ⋮ 拒否IP アドレス8
      - 受信／印刷許可: しない / する
      - 許可アドレス設定*: 許可IP アドレス1 ⋮ 許可IP アドレス8
      - 設定／参照拒否: しない / する
      - 拒否アドレス設定*: 拒否IP アドレス1 ⋮ 拒否IP アドレス8
      - 設定／参照許可: しない / する
      - 許可アドレス設定*: 許可IP アドレス1 ⋮ 許可IP アドレス8
    - DNS
      - プライマリーDNSサーバーアドレス: 0.0.0.0
      - セカンダリーDNSサーバーアドレス: 0.0.0.0
  - IPv6設定
    - IPv6: オフ / オン
  - WINSによる名前解決: オフ / オン
  - ARP/PING: オフ / オン
  - FTP
    - FTP印刷: オフ / オン
    - FTP設定: オフ / オン
  - LPD印刷: オフ / オン
  - RAW印刷: オフ / オン
  - BMLinkS: 使わない / 使う
  - IPP印刷: オフ / オン
  - WSD
    - WSD印刷: オフ / オン
    - WSD参照*: オフ / オン

右の列に続く

左の列から続く

    - マルチキャスト探索: オフ / オン
  - HTTP: オフ / オン
  - プロキシー設定
    - プロキシー: オフ / オン
    - サーバーアドレス*
    - ポート番号*: 0 ⋮ 80 ⋮ 99999
    - 同一ドメイン*: プロキシーを使用 / プロキシーを使用しない
    - プロキシー認証*: オフ / オン
    - ユーザー名*
    - パスワード*
  - SNTP: オフ / オン
  - 探索応答: オフ / オン
  - MACアドレス設定*
    - 受信許可: しない / する
    - 許可アドレス設定*: 許可MACアドレス1 ⋮ 許可MACアドレス50
- AppleTalk: オフ / オン
- SNMPv1: オフ / オン
- SNMPv3設定
  - SNMPv3: オフ / オン
  - ユーザー設定1～5*: 認証パスワード / 暗号化パスワード
- 起動待機時間: 0 秒 ⋮ 300 秒
- リモートUI設定
  - リモートUI: オフ / オン
  - SSL*: オフ / オン
- Ethernetドライバー*
  - 自動検出: オフ / オン
  - 通信方式*: 半二重 / 全二重
  - Ethernet種類*: 10 Base-T / 100 Base-TX
- MACアドレス: （表示のみ）
- ネットワーク設定初期化

レイアウト

- コピー枚数: 1 ⋮ 9999
- 縦位置補正: -50.0(mm) ⋮ 0.0(mm) ⋮ 50.0(mm)
- 横位置補正: -50.0(mm) ⋮ 0.0(mm) ⋮ 50.0(mm)
- とじ方向: 長辺とじ / 短辺とじ

右の列に続く

左の列から続く

- とじしろ: -50.0(mm) ⋮ 0.0(mm) ⋮ 50.0(mm)
- 特殊両面処理*: しない / する

印字調整

- スーパースムーズ: 使わない / 使う
- 階調処理: 標準 / 高階調
- ドラフトモード: 使わない / 使う
- トナー濃度: -3 ⋮ 0 ⋮ +12
- 中間調選択
  - テキスト: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
  - グラフィックス: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
  - イメージ: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
- 画質警告: 継続 / 停止

インターフェイス

- インターフェイス選択
  - USB: 使わない / 使う
  - ネットワーク: 使わない / 使う
- タイムアウト
  - タイムアウト: しない / する
  - タイムアウト時間*: 5 秒 ⋮ 15 秒 ⋮ 300 秒
- 拡張カード*
- コネクション認識: しない / する
- 拡張受信バッファー*: 使わない / 使う

ユーザーメンテナンス

- 印字位置調整
  - 縦位置補正（トレイ）: -5.0(mm) ⋮ 0.0(mm) ⋮ 5.0(mm)
  - 横位置補正（トレイ）: -2.59(mm) ⋮ 0.00(mm) ⋮ 2.59(mm)
  - 縦位置補正（カセット1）: -5.0(mm) ⋮ 0.0(mm) ⋮ 5.0(mm)
  - 横位置補正（カセット1）: -2.59(mm) ⋮ 0.00(mm) ⋮ 2.59(mm)

次のページに続く

前のページから続く

- 縦位置補正(カセット2)*
  - -5.0(mm)
  - ⋮
  - 0.0(mm)
  - ⋮
  - 5.0(mm)
- 横位置補正(カセット2)*
  - -2.59(mm)
  - ⋮
  - 0.00(mm)
  - ⋮
  - 2.59(mm)
- 縦位置補正(カセット3)*
  - -5.0(mm)
  - ⋮
  - 0.0(mm)
  - ⋮
  - 5.0(mm)
- 横位置補正(カセット3)*
  - -2.59(mm)
  - ⋮
  - 0.00(mm)
  - ⋮
  - 2.59(mm)
- 縦位置補正(カセット4)*
  - -5.0(mm)
  - ⋮
  - 0.0(mm)
  - ⋮
  - 5.0(mm)
- 横位置補正(カセット4)*
  - -2.59(mm)
  - ⋮
  - 0.00(mm)
  - ⋮
  - 2.59(mm)
- 縦位置補正(両面)*
  - -5.0(mm)
  - ⋮
  - 0.0(mm)
  - ⋮
  - 5.0(mm)
- 横位置補正(両面)*
  - -2.59(mm)
  - ⋮
  - 0.00(mm)
  - ⋮
  - 2.59(mm)
- リカバリー印刷
  - しない
  - する
- 用紙長さ確認
  - しない
  - する
- 用紙サイズ置換
  - しない
  - する
- 特殊印字モードA
  - モード1
  - モード2
  - モード3
  - モード4
- うねり特殊処理
  - しない
  - する
- ファームウェア更新
  - USB
  - 標準ネットワーク
- ジョブ一覧表示
  - しない
  - する

動作モード

- 動作モード選択
  - 自動選択
  - LIPS
  - N201*
  - ESC/P
  - I5577*
  - HP-GL*
  - HP-GL/2*
  - HEX-DUMP
  - LIPS-DUMP
- 自動切替
  - LIPS
    - 使わない
    - 使う
  - N201*
    - 使わない
    - 使う
  - ESC/P
    - 使わない
    - 使う
  - I5577*
    - 使わない
    - 使う
  - HP-GL*
    - 使わない
    - 使う

右の列に続く

左の列から続く

- HP-GL/2*
  - 使わない
  - 使う
- 優先エミュレーション
  - なし
  - LIPS
  - N201*
  - ESC/P
  - I5577*
  - HP-GL*
  - HP-GL/2*

LIPS4設定メニュー

- 拡大/縮小
  - しない
  - →A3
  - →B4
  - →A4
  - →B5
  - →A5
  - →はがき
  - →往復はがき
  - →4面はがき
  - →リーガル
  - →レター
- 複数ページ印刷
  - しない
  - 2ページ(左)
  - 2ページ(右)
  - 4ページ(横ー左)
  - 4ページ(横ー右)
  - 4ページ(縦ー左)
  - 4ページ(縦ー右)
- 複数ページ余白
  - パターン1
  - パターン2
- ページの向き
  - 縦
  - 横
- オーバーレイ1/2
  - オーバーレイ1/2設定
    - する
    - しない
  - オーバーレイ1/2番号*
    - 0
    - ⋮
    - 32767
- スタートアップマクロ
  - 0
  - ⋮
  - 30
  - ⋮
  - 32767
- 漢字コード
  - JIS
  - シフトJIS
  - EUC
  - DEC
- 文字サイズ
  - 10ポイント
  - 12ポイント
  - 8ポイント
- 漢字書体
  - 明朝
  - ゴシック
- ANK書体
  - 明朝
  - ゴシック
  - ラインプリンター
- 漢字グラフィックセット
  - JIS90
  - JIS78
- 行数
  - 行数選択
    - 6 lpi
    - 8 lpi
    - 任意設定
  - 任意設定値*
    - 10
    - ⋮
    - 99
- 桁数
  - 桁数選択
    - 自動
    - 10 cpi
    - 12 cpi
    - 15 cpi
    - 任意設定

右の列に続く

左の列から続く

  - 任意設定値*
    - 10
    - ⋮
    - 200
- 自動改ページ
  - しない
  - する
- 自動改行
  - しない
  - する
- CR機能
  - CRのみ
  - CR+LF
- LF機能
  - LFのみ
  - LF+CR
- 網かけ解像度
  - クイック
  - ファイン
- ジョブタイムアウト
  - しない
  - する
- 白紙節約
  - しない
  - する

LIPS LX設定メニュー

- 白紙節約
  - しない
  - する

ESC/P設定メニュー

ページレイアウト

- ページフォーマット
  - 実寸縦
  - 実寸横
  - 10インチ→A4縦
  - 15インチ→A4横
  - 15インチ→B4横
  - B4→A4縦
  - B4→A4横
- 上余白
  - -127
  - ⋮
  - 0
  - ⋮
  - 127
- 用紙位置微調整
  - -127
  - ⋮
  - 0
  - ⋮
  - 127
- 領域
  - 標準
  - ワイド
- 右マージン既定値
  - 136桁
  - 右端
- 用紙サイズ
  - A3
  - B4
  - A4
  - B5
  - A5
  - はがき
- 2ページ印刷設定
  - しない
  - 左
  - 右

フォント

- 漢字書体
  - 明朝
  - ゴシック
  - フォントID
- フォントID*
  - 1
  - ⋮
  - 2
  - ⋮
  - 999
- 漢字サイズ
  - システム
  - 8ポイント
  - 10ポイント
  - 12ポイント
- 文字コード
  - カタカナ
  - グラフィックス

次のページに続く

前のページから続く

- 国別文字
  - 日本
  - ノルウェー
  - デンマーク2
  - スペイン2
  - ラテンアメリカ
  - USA
  - フランス
  - ドイツ
  - UK
  - デンマーク
  - スウェーデン
  - イタリア
  - スペイン

印字機能

- イメージの補正
  - しない
  - する
- 縮小文字
  - しない
  - する

印字動作

- 改行機能
  - LFコマンドを待つ
  - 改行

VFC

- 連続用紙長
  - 設定方法
    - システム
    - 任意設定
  - 任意設定値*
    - 1行
    - ⋮
    - 66行
    - ⋮
    - 199行
- 単票用紙長
  - 設定方法
    - システム
    - 任意設定
  - 任意設定値*
    - 1行
    - ⋮
    - 66行
    - ⋮
    - 199行
- ミシン目スキップ
  - ミシン目スキップ
    - しない
    - する
  - スキップ量*
    - 1行
    - ⋮
    - 31行

その他

- 登録レベル
  - 一時
  - 永久

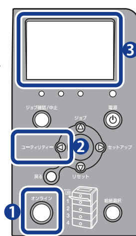
Imaging設定メニュー

- 画像の向き
  - 自動
  - 縦
  - 横
- 拡大／縮小
  - しない
  - 自動
- 印字位置
  - 自動
  - 中央
  - 左上
- 警告表示
  - しない
  - 印刷
  - パネル
- 印字領域拡大
  - しない
  - する

ユーティリティーメニュー

＜表示方法＞

1. オンライン状態になっていることを確認する
   オンライン状態になっていない場合、[オンライン]を押す
2. [ユーティリティー]を押す
3. ユーティリティーメニューが表示される

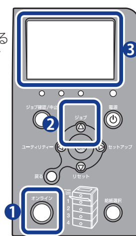


- 共通ステータスプリント
- ネットワークステータスプリント
- LIPSユーティリティー
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバーレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバーレイプリント
- ESC/Pユーティリティー
  - ステータスプリント
  - オーバーレイプリント*
- N201ユーティリティー*
  - ステータスプリント
  - オーバーレイプリント
- I5577ユーティリティー*
  - ステータスプリント
  - オーバーレイプリント
- HP-GLユーティリティー*
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- HP-GL/2ユーティリティー*
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- クリーニング
  - A4
  - LTR
- 拡張カードリスト*
- 印字位置調整プリント
- 総印刷ページ数
- 消耗品確認
  - 給紙情報
  - トナー型番
  - トナー残量

ジョブメニュー

＜表示方法＞

1. オンライン状態になっていることを確認する
   オンライン状態になっていない場合、[オンライン]を押す
2. [ジョブ]を押す
3. ジョブメニューが表示される



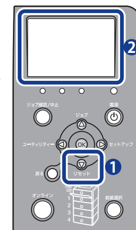
- ジョブ印刷履歴リスト*
- レポート印刷履歴リスト*

リセットメニュー

＜表示方法＞

1. [リセット]を押す
2. リセットメニューが表示される

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンターにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。



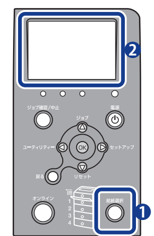
- ソフトリセット／ハードリセット
- 排出
- シャットダウン

給紙選択メニュー

＜表示方法＞

1. [給紙選択]を押す
2. 給紙選択メニューが表示される

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。



- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2*
  - カセット3*
  - カセット4*
  - 手差しトレイ
- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A5
  - B5
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - レター
  - レターR
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザ設定サイズ
  - ユーザ設定サイズR
  - はがき
  - 往復はがき
  - 4面はがき
  - 封筒 角形2号
  - 封筒 長形3号
  - 封筒 洋形長3号
- カセット1用紙サイズ
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- カセット2用紙サイズ*
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- カセット3用紙サイズ*
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- カセット4用紙サイズ*
  - フリー
  - ユーザー設定サイズ
  - ユーザー設定サイズR
- 両面印刷*
  - する
  - しない

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　**〒108-8011　東京都港区港南2-16-6**

Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-6288　(00)